

その他の機能と設定

VICS 情報を見る	I-2
手動表示(文字情報／簡易図形情報を見る)	I-2
地図上表示	I-3
自動割り込み表示	I-3
FM多重放送(VICS受信)の選局をする	I-4
VICS情報の地図表示設定をする	I-5
ETC／ETC2.0の設定をする	I-6
ETCの設定をする	I-6
ETC2.0の設定をする	I-7
ETC 情報を見る	I-7
ドライブレコーダーDRH-189Nの 操作・設定をする	I-8
録画について	I-8
録画した動画・静止画を再生する／削除する／ 保存フォルダへ移動する	I-10
その他の操作(現在の映像を表示・設定)	I-11
ドライブレコーダーDRH-204VDの 操作・設定をする	I-13
録画について	I-13
録画した動画・静止画を再生する／削除する／ 保存フォルダへ移動する	I-15
その他の操作(現在の映像を表示・設定)	I-16
記念距離メモリー	I-18
フロントカメラ映像を表示する	I-20
フロントカメラの設定をする	I-21

リアカメラ映像を表示する	I-22
リアカメラ de あんしんプラスを使用する	I-25
リアカメラ de あんしんプラス2 (ダブルビュー)を使用する	I-27
パーキングセンサー表示	I-28
フロントカメラ／リアカメラについて	I-31
走行軌跡を記録する	I-32
地点登録をする	I-33
internaviでSDカードに保存した地点を 本機に登録する	I-33
自宅／登録地点の編集をする	I-34
自宅／登録地点を削除する	I-37
オプションボタンを設定する	I-37
キー操作音を設定する	I-38
セキュリティ機能を設定する	I-38
オーディオリモコンスイッチを使う	I-39
オーディオリモコンスイッチの操作	I-39
ステアリングリモコン設定	I-40
画面の画質調整とサイズ切換をする	I-42
画面を消す	I-43
データを初期化(消去)する	I-44
本体情報を見る	I-44

VICS 情報を見る

本機は下記を利用した VICS 情報を受信することができます。

- ・ FM 多重放送 (FM 多重放送の選局が必要です。[P1-4])
- ・ ETC2.0 (別売の ETC2.0 車載器 (ナビ連動タイプ) の接続が必要です。)

VICS 情報は情報内容によって表示方法が異なり、手動表示／地図上表示／自動割り込み表示で表示されます。

お知らせ

- 車のエンジンスイッチを OFF に入れたり、FM 多重放送の受信周波数が変わると、受信した VICS 情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間が経過した場合、VICS 情報は消去されます。

手動表示(文字情報／簡易図形情報を見る)

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **VICS** をタッチする。

2 “FM VICS” の **文字情報** *1 / **図形情報** *1 / **緊急情報** *1、
“ETC2.0” の **受信情報** *2 から表示したいものを選んでタッチする。

文字情報表示画面(例)



目次内容

目次選択ボタン

簡易図形情報表示画面(例)



目次画面に
戻ります。

ページを戻し／送ります。

ETC2.0 受信情報表示画面(例)



ページを戻し／送ります。

- 再生** : 音声情報を再生します。
 - 停止** : 音声情報再生を停止します。
- ※音声情報が無い場合、再生はできません。

お知らせ

手動表示の情報を表示中に緊急情報を受信した場合は、自動的に緊急情報表示に切り換わります。この場合、自動的にもとの画面に戻りませんので、もとの画面に戻すには再び上記の操作を行ってください。

* 1…表示には FM 多重放送を選局して情報を受信する必要があります。

* 2…表示には別売の ETC2.0 車載器 (ナビ連動タイプ) で情報を受信する必要があります。

地図上表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞などの情報が表示されます。

ボタンに表示の時刻は、
VICS 情報提供時刻です。
("---") のときは VICS 情報が未受信です)



VICS 渋滞情報

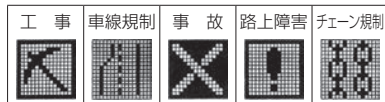
渋滞情報を矢印(➡)で表示します。

赤色：渋滞
橙色：混雑
緑色：順調

VICS マーク

規制などの情報をマークで表示します。

<マーク一例>



地図をスクロールさせて VICS マークに
カーソル(---)を合わせると、詳細情報が
表示されます。



黄色の線は規制範囲を示します。

お知らせ

- 情報が多い場合は、VICS 情報表示するまでに数秒かかることがあります。
- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によっては地図上表示できない場合があります。
- VICS 情報表示は、地図をスクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。

自動割り込み表示

ETC2.0の受信情報や緊急情報など VICS 情報には自動割り込み表示するものがあります。

割り込み表示画面(例)

ページを戻し/送りします。

再生 : 音声情報を再生します。

停止 : 音声情報再生を停止します。

※ 音声情報が無い場合、再生はできません。



お知らせ

再探索中など一部の場所で割り込み表示しないことがあります。

FM 多重放送(VICS 受信)の選局をする

VICS 情報を見るには、FM 多重放送で VICS 情報を提供している放送局を選局してください。

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **VICS** → **周波数設定** をタッチする。

2 選局方法を選んで選局する。



自動選局

自動で放送局をサーチして、選局する方法です。

自動選局 をタッチし、表示灯を点灯させる。

(表示灯点灯：自動選局に設定、消灯：自動選局解除)

※自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。

(放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります。)

※自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り換えます。

手動選局

受信周波数を手動で変更して選局する方法です。

+ / **-** をタッチして、周波数を変える。

※タッチするたびに 0.1 MHz ずつ変わります。

タッチし続けると始めは 0.1 MHz ずつ、その後 1 MHz ずつ変わります。

エリア選局

現在地周辺の放送局リストから選局する方法です。

① **エリア選局** をタッチする。

⇒ 放送局リストが表示されます。

② 放送局リストから選んでタッチする。

プリセット選局

あらかじめ本機にプリセット(登録)しておいた放送局をワンタッチで選局する方法です。

プリセットボタンから選局したい放送局を選んでタッチする。

お知らせ

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければ VICS 情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、VICS 情報は受信できない場合があります。

プリセットボタンに放送局を登録する

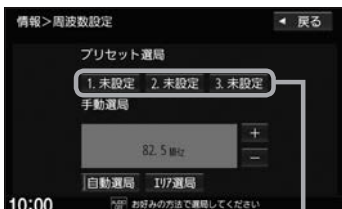
放送局を3局まで登録できます。

1 登録したい放送局を選局する。

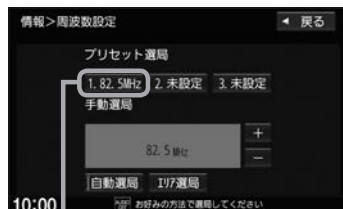
お知らせ

自動選局に設定している場合は解除してください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始め、登録する前に周波数が変わってしまう場合があります。

2 登録先のプリセットボタンを選んで長押しする。



プリセットボタン



選局中の放送局周波数が書きで登録されます。

VICS情報の地図表示設定をする

1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 渋滞情報 → VICS表示設定 をタッチする。

2 表示設定したい項目を選んでタッチし、表示灯の点灯⇔消灯を切り換えて設定する。

※点灯：表示、消灯：表示しない



一般道 …一般道路のVICS情報の表示／非表示
有料道 …有料道路のVICS情報の表示／非表示
 ※表示灯を点灯させると、下記の **規制** / **点滅** / **駐車場** / **渋滞無し** / **渋滞混雑** の表示設定に従ってVICS情報表示をします。

規制 ……規制情報の表示／非表示
点滅 ……渋滞情報などを示す矢印表示を点滅させる／させない
駐車場 ……駐車場情報の表示／非表示
渋滞無し ……渋滞情報のうちく緑色：順調>について表示／非表示
渋滞混雑 ……渋滞情報のうちく赤色：渋滞>とく橙色：混雑>について表示／非表示

その他の機能設定

ETC / ETC2.0の設定をする

必ず、ETCシステム利用規定などをお読みください

- ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- 利用規定などは、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。

ETCの設定をする

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)またはETC2.0車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合は、本機でETCの設定を行うことができます。

1 **[MENU]** → **設定／情報** → **システム設定** → **ETC設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

カード挿入アイコン表示

ETCカードを挿入中、本機の情報バーにアイコン表示を **する** / **しない** を設定できます。

ETC : カード挿入アイコン

ETC : カードの期限切れ、カードエラー、車載器エラー

本体ブザー音

ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせを **する** / **しない** を設定できます。

※標準装備のETC車載器を接続している場合は設定できません。

音声案内

本機でETC利用料金などを音声案内 **する** / **しない** を設定できます。

※利用料金などの音声案内は、画面の表示と異なる場合があります。

カード入れ忘れ警告

本機を起動したときETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせ **する** / **しない** を設定できます。

カード有効期限案内

ETCカードの有効期限まで2か月以下の場合、音声とメッセージ画面でお知らせ **する** / **しない** を設定できます。

※本機起動中にETCカードを挿入したとき、もしくは挿入した状態で本機を起動したときにお知らせします。

※ETCカードの有効期限が切れている場合は、**しない** に設定してもお知らせします。

表示割り込み時間

5秒 **10秒** **15秒** **30秒** … ETC関連のお知らせがあった場合、設定した時間だけ割り込み表示してお知らせします。

しない …… 割り込み表示しません。(ただし、料金所通過時と料金支払時は表示します。)

ETC2.0の設定をする

別売のETC2.0車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合は、ETC2.0の交通情報サービスを利用したり、ETC2.0の設定を行うことができます。

1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **渋滞情報** → **ETC2.0設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない**)を選んでタッチする。

ETC2.0受信音

ETC2.0で情報を受信すると音を鳴らす(**する**) / 鳴らさない(**しない**)を設定できます。

※ **しない** に設定していても、重要な情報(注意や警戒を喚起する情報など)の場合は受信音が鳴ります。

ETC2.0割込み

ETC2.0で自動割り込み表示する情報を受信したとき、割り込み表示を **する** / **しない** を設定できます。

※ **しない** に設定していても、重要な情報(注意や警戒を喚起する情報など)の場合は割り込み表示します。

ETC2.0音声自動再生

ETC2.0で音声情報がある情報を受信した場合、音声の自動再生を **する** / **しない** を設定できます。

ETC2.0アップリンク

本機およびETC2.0車載器で収集した情報を、路側機へ自動的に送信 **する** / **しない** を設定できます。

※走行開始地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。

送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

※路側機とは、情報を配信するため道路に設置された無線基地局のことです。

ETC情報を見る

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)またはETC2.0車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合は、本機でETC情報(利用履歴など)を見ることができます。

1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ETC情報** をタッチする。

2 表示したい情報を選んでタッチする。

— お知らせ —

- **カード情報** / **利用履歴** はETCカード挿入時にタッチできます。
- **利用履歴** では、ETCの利用履歴を新しいものから最大100件まで確認できます。



ドライブレコーダーDRH-189Nの操作・設定をする

別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ: DRH-189N)の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作詳細については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

【パート10～12の操作をするときに **ドライブレコーダー** をタッチすると、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、**現在地** を押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画について

● 録画の種類

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリまたはONに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。*1*2
手動録画	本機の  (オプションボタン) を長押しして録画を開始します。(手動録画した動画は古い順に上書きします。詳細についてはドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)
駐車時録画	車のエンジンスイッチをOFFに入れた後、約30分間、録画を継続します。*2*3*4
駐車時録画プラス	車のエンジンスイッチをOFFに入れている間(駐車時録画が動作する場合は駐車時録画終了後)、衝撃を検知すると、約1分間(検知して約4秒後から約1分間)録画を行います。*3

- ドライブレコーダーで静止画撮影することもできます。
- 録画された動画／静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDカードに保存します。(なお動画は、高画質モードで約39秒ずつ、標準モードで約52秒ずつを1ファイルに保存します。)
- 情報バーに常時録画中／手動録画中／録画停止中のマークが表示されます。

-  : 常時録画中
-  : 手動録画中(マークの中心が赤色)
-  : 録画停止中

常時録画中の場合(例)



マーク

- * 1…ドライブレコーダーの再生中(記念距離メモリーの映像記録の表示中を含む)や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。(録画中／録画停止中は情報バーに表示されるマークでご確認ください。)
- * 2…録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。(急加速／急減速を検知した記録がある場合は上書きされません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速／急減速を新たに検知した場合は、古い順に上書きする場合があります。)
- * 3…車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。
- * 4…録画停止中(ドライブレコーダーの設定中や再生中など)にエンジンスイッチをOFFに入れた場合、「駐車時録画」を **する** に設定していても駐車時録画は開始されません。**現在地** を押してドライブレコーダー画面を終了させ、情報バーのマークで録画中であることを確認してからエンジンスイッチをOFFに入れてください。

手動録画する

1 (オプションボタン)を長押しする。

⇒手動録画が開始されます。

お知らせ

- 手動録画は所定の時間が経過すると、自動で停止します。("手動録画の自動停止" (P12)で設定した時間が経過後、自動停止します。)
- 手動録画中に  (オプションボタン)を長押しすると、手動録画を停止することができます。
- QUICKメニューに **動画録画** (ドライブレコーダー動画録画)を設定 (P14)している場合は、現在地の地図画面で **QUICK → 動画録画 / 録画終了** をタッチしても、手動録画を開始/停止することができます。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

1 現在地の地図画面で **QUICK → 静止画撮影** をタッチする*¹、または (オプションボタン)を押す*²。

⇒静止画を撮影します。

* 1…あらかじめQUICKメニューに **静止画撮影** (ドライブレコーダー静止画撮影)を設定 (P14)しておく必要があります。

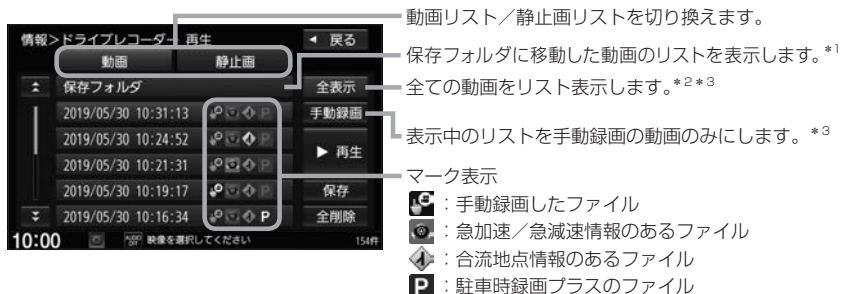
* 2…あらかじめ  (オプションボタン)にドライブレコーダー静止画撮影機能を設定 (P37)しておく必要があります。

ドライブレコーダーDRH-189Nの操作・設定をする

録画した動画・静止画を再生する／削除する／保存フォルダへ移動する

再生する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **再生** をタッチする。
- 2 リストから再生したい動画／静止画を選んでタッチし、**▶再生** をタッチする。



動画再生画面



静止画再生画面



* 1… **保存フォルダ** をタッチした後に動画リストに戻るには **戻る** をタッチしてください。

* 2…動画リストのときは保存フォルダに移動したものを除く全ての動画を表示します。

* 3…保存フォルダの動画リストを表示しているときは操作できません。

お知らせ

動画再生画面／静止画再生画面について

- 表示更新は約1秒間に1回のため、実際の車の走行速度や加速／減速レベルとは異なる場合があります。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報(加速／減速レベルなど)や **地点登録** **目的地にする** ボタンが非表示になることがあります。

削除する

1 下表の操作を行う。

動画または静止画を 全て削除する	①「再生する」(「再生」I-10)の手順 2 で 動画／静止画 を選んでタッチする。 ② 全削除 をタッチする。 ※上記の操作では、保存フォルダのファイルは削除されません。保存フォルダのファイルを全て削除するには、「再生する」(「再生」I-10)の手順 2 で 保存フォルダ → 全削除 をタッチしてください。
1つ選んで削除する	① 削除したい動画／静止画を再生する。 ② 再生画面で 削除 をタッチする。

保存フォルダへ移動する

※保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。

※保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。

※保存フォルダへ移動した動画は上書きされなくなります。

- 1** **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **再生** をタッチする。
- 2** リストから移動したい動画を選んでタッチし、**保存** をタッチする。

その他の操作(現在の映像を表示・設定)

ドライブレコーダーの現在の映像を本機に表示する

※走行中は映像を表示しません。

- 1** **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **カメラモニター** をタッチする。

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを初期化(フォーマット)する

- 1** **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **設定** をタッチする。
- 2** “SDカードのフォーマット” の **フォーマットする** をタッチする。

※初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。

ドライブレコーダーDRH-189Nの操作・設定をする

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを取り出せるようにする

- ⚠ 注意** ドライブレコーダーからSDカードを取り出すときは必ず以下の操作を行ってから取り出してください。
この操作を行わないとSDカード内のデータが壊れるおそれがあります。

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **SDカード取出** をタッチする。

ドライブレコーダーの設定をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **設定** をタッチする。

- 2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

画質

録画の画質を **高画質** / **標準** から設定できます。

ブザー音

ドライブレコーダーのブザー音の音量を **OFF** / **1** / **2** / **3** から設定できます。
OFF に設定すると、ブザー音が鳴らないようにできます。

手動録画の自動停止

手動録画を開始後、自動停止する時間を **1分** / **3分** から設定できます。
また、**自動停止しない** を設定することもできます。

※ **自動停止しない** に設定した場合でも、手動録画のファイル数が上限数に達すると手動録画が停止します。

駐車時録画

駐車時録画 **する** / **しない** を設定できます。

駐車時録画プラス

駐車時録画プラスを有効に **する** / **しない** を設定できます。

感度設定(常時録画／駐車時録画)

常時録画中および駐車時録画中のドライブレコーダーの衝撃検知の感度を ◀ / ▶ をタッチして調整できます。

※ 小さい値に設定するほど小さい衝撃でも衝撃感知されやすくなります。

感度設定(駐車時録画プラス)

ドライブレコーダーがどれくらいの衝撃を検知したときに駐車時録画プラスを行うか、その衝撃検知の感度を ◀ / ▶ をタッチして調整できます。

※ 小さい値に設定するほど小さい衝撃でも駐車時録画プラスが行われやすくなります。

お知らせ

- ドライブレコーダーの合流地点に関する機能が有効になるためには、録画するときに本機で合流地点の音声案内がされている必要があります。
- 設定を初期化するには、“設定初期化”の **初期化する** をタッチしてください。

ドライブレコーダーDRH-204VDの操作・設定をする

別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ: DRH-204VD)の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作詳細については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

【パート15～17の操作をするときに**ドライブレコーダー**をタッチすると、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、**現在地**などを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画について

● 録画の種類

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリまたはONに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。*1*2
手動録画	本機の  (オプションボタン) を長押しして録画を開始します。手動録画の録画時間は  を押す前の約12秒と押し始めた後の約8秒で約20秒となります。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。*3
駐車時録画	車のエンジンスイッチをOFFに入れた降車時開始時間の設定時間が経過したあとから最大約30分間録画します。*2*4*5
駐車時録画プラス	車のエンジンスイッチをOFFに入れている間(OFF直後から降車時開始時間設定の設定時間が経過するまでを除く)に衝撃を検知すると、約1分間(検知して約4秒後から約1分間)録画します。*3*4*5

● ドライブレコーダーで静止画撮影することもできます。

● 録画された動画／静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDカードに保存します。(なお動画は、約2分ずつを1ファイルに保存します。)

● 情報バーに常時録画中／手動録画中／録画停止中のマークが表示されます。

-  /  *6: 常時録画中
-  /  *6: 手動録画中(マークの中心が赤色)
-  /  *6: 録画停止中

常時録画中の場合(例)



マーク

- *1…ドライブレコーダーの再生中(記念距離メモリーの映像記録の表示中を含む)や、ドライブレコーダーの設定などをしていているときは録画が停止します。(録画中／録画停止中は情報バーに表示されるマークでご確認ください。)
- *2…録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。
- *3…上書き保存設定が「ON」のときは各録画で設定している録画可能件数になると古いファイルから上書きします。上書きしないように「OFF」にすることもできます。別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ: DRH-204VD)の取扱説明書をご覧ください。
- *4…車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。
- *5…降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ: DRH-204VD)の取扱説明書をご覧ください。
- *6…別売の後方録画カメラを取り付けている場合のみ

ドライブレコーダーDRH-204VDの操作・設定をする

手動録画する

- 1  (オプションボタン)を長押しする。

⇒手動録画が開始されます。

お知らせ

- 手動録画は所定の時間が経過すると、自動で停止します。
- 手動録画中に  (オプションボタン)を長押しすると、手動録画を延長することができます。
- QUICKメニューに **動画録画** (ドライブレコーダー動画録画)を設定(☞B-14)している場合は、現在地の地図画面で **QUICK** → **動画録画** をタッチしても、手動録画を開始／延長することができます。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** → **静止画撮影** をタッチする*¹、または  (オプションボタン)を押す*²。

⇒静止画を撮影します。

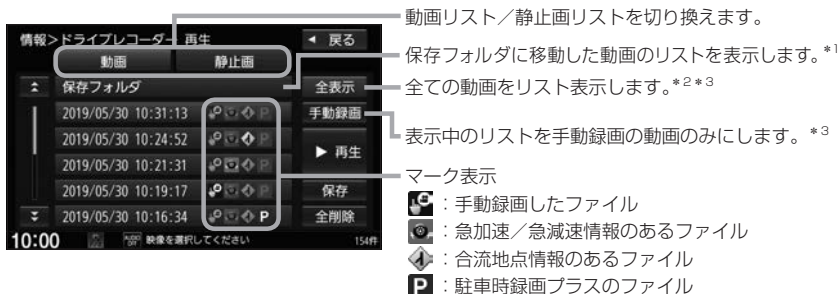
* 1…あらかじめQUICKメニューに **静止画撮影** (ドライブレコーダー静止画撮影)を設定(☞B-14)しておく必要があります。

* 2…あらかじめ  (オプションボタン)にドライブレコーダー静止画撮影機能を設定(☞I-37)しておく必要があります。

録画した動画・静止画を再生する／削除する／保存フォルダへ移動する

再生する

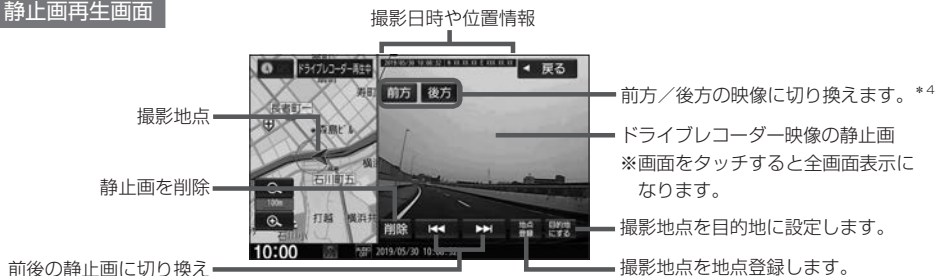
- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **再生** をタッチする。
- 2 リストから再生したい動画／静止画を選んでタッチし、**▶再生** をタッチする。



動画再生画面



静止画再生画面



その他の機能
と設定

- * 1… **保存フォルダ** をタッチした後に動画リストに戻るには **戻る** をタッチしてください。
- * 2…動画リストのときは保存フォルダに移動したものを除く全ての動画を表示します。
- * 3…保存フォルダの動画リストを表示しているときは操作できません。
- * 4…別売の後方録画カメラを取り付けている場合のみ

ドライブレコーダーDRH-204VDの操作・設定をする

お知らせ

動画再生画面／静止画再生画面について

- 表示更新は約1秒間に1回のため、実際の車の走行速度や加速／減速レベルとは異なる場合があります。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報(加速／減速レベルなど)や **地点登録** **目的地にする** ボタンが非表示になることがあります。

削除する

1 下表の操作を行う。

動画または静止画を 全て削除する	①「再生する」(「設定」-15)の手順 2 で 動画／静止画 を選んでタッチする。 ② 全削除 をタッチする。 ※上記の操作では、保存フォルダのファイルは削除されません。保存フォルダのファイルを全て削除するには、「再生する」(「設定」-15)の手順 2 で 保存フォルダ → 全削除 をタッチしてください。
1つ選んで削除する	① 削除したい動画／静止画を再生する。 ② 再生画面で 削除 をタッチする。

保存フォルダへ移動する

- ※保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- ※保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。
- ※保存フォルダへ移動した動画は上書きされなくなります。

- 1** **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **再生** をタッチする。
- 2** リストから移動したい動画を選んでタッチし、**保存** をタッチする。

その他の操作(現在の映像を表示・設定)

ドライブレコーダーの現在の映像を本機に表示する

※走行中は映像を表示しません。

- 1** **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **カメラモニター** をタッチする。

お知らせ

別売の後方録画カメラを取り付けている場合、**前方**／**後方** ボタンが表示されます。タッチすると、前方／後方の映像を切り換えることができます。

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを初期化(フォーマット)する

- 1** **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **設定** をタッチする。
- 2** “SDカードのフォーマット” の **フォーマットする** をタッチする。

※初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。

ドライブレコーダーに挿入しているSDカードを取り出せるようにする



ドライブレコーダーからSDカードを取り出すときは必ず以下の操作を行ってから取り出してください。

この操作を行わないとSDカード内のデータが壊れるおそれがあります。

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **SDカード取出** をタッチする。

ドライブレコーダーの設定をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **情報** → **ドライブレコーダー** → **設定** をタッチする。

- 2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

画質

録画の画質を **標準** / **長時間** から設定できます。

ブザー音

ドライブレコーダーのブザー音の音量を **OFF** / **1** / **2** / **3** から設定できます。

OFF に設定すると、ブザー音が鳴らないようにできます。

音声録音

動画を録画時に音声録音も **する** / **しない** を設定できます。

駐車時録画

する / **しない** を設定できます。

駐車時録画プラス

駐車時録画プラスを有効に **する** / **しない** を設定できます。

感度設定(常時録画)

常時録画中のドライブレコーダーの衝撃検知の感度を ◀ / ▶ をタッチして調整できます。

※感度を高く(数値を高く)するほど、小さい衝撃でも衝撃感知されやすくなります。

感度設定(駐車時録画プラス)

ドライブレコーダーがどれくらいの衝撃を検知したときに駐車時録画プラスを行うか、その衝撃検知の感度を ◀ / ▶ をタッチして調整できます。

※感度を高く(数値を高く)するほど、小さい衝撃でも駐車時録画プラスが行われやすくなります。

お知らせ

- ドライブレコーダーの合流地点に関する機能が有効になるためには、録画するときに本機で合流地点の音声案内がされている必要があります。
- 設定を初期化するには、“設定初期化”の **初期化する** をタッチしてください。

記念距離メモリー

車の総走行距離が所定の距離(例：7 777 km、10 000 kmなど)に達したとき、そのときの日時・場所を自動記録します。さらに、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)を接続している場合は、ドライブレコーダーの映像を静止画で自動記録します。

※車両の装備やグレードが記念距離メモリー機能に対応している必要があります。[図] A-11

記念距離メモリー画面(例)



記念距離メモリー画面(別売のドライブレコーダーの映像記録がある場合の例)



保存した画像ファイルは個人で楽しむ目的以外(商用利用や事故時の証拠資料など)に使用しないでください。

お知らせ

- 本機の起動中に所定の総走行距離に到達した場合、日時・位置・速度が正常に記録されない場合があります。
- 別売のドライブレコーダーが録画停止中(本機でドライブレコーダー設定や再生、記念距離メモリーを表示しているときなど)に所定の総走行距離に到達した場合、映像の記録はできません。また、映像記録の途中で車のエンジンスイッチを変更した場合など、映像の記録ができない場合があります。
- 記念距離メモリーは手動では記録できません。

* 1…位置情報や走行速度は記録できない場合があります。その場合、地図は表示されません。ドライブレコーダーの映像記録があり位置情報の記録が無い場合は、映像の全画面表示になります。

* 2…SDカードを本機に挿入しておく必要があります。画像ファイルはSDカード内の“PRIVATE”フォルダにビットマップ形式で保存されます。

* 3…DRH-189Nの場合のみ

* 4…DRH-204VDの場合のみ

* 5…ドライブレコーダーDRH-204VDが接続され、さらに別売の後方録画カメラを取り付けている場合のみ

* 6…ドライブレコーダー映像の記録は、所定の総走行距離に達したとき約10秒おきに6枚記録します。

記念距離メモリーを表示する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **記念距離メモリー表示** をタッチする。
- 2 表示したいものをリストから選んでタッチし、**詳細** をタッチする。

⇒ 記念距離メモリー画面が表示されます。

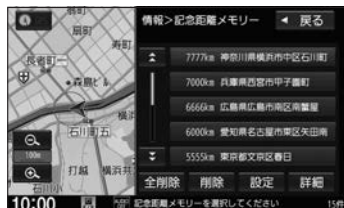
お知らせ

詳細 をタッチ後、ドライブレコーダー映像が表示された場合、ドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。その後、**現在地** などを押して記念距離メモリー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

記念距離メモリーの記録を削除する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **記念距離メモリー表示** をタッチする。
- 2 下表の操作を行う。

全て削除する	全削除 をタッチする。
1つ選んで削除する	① リストから削除したいものを選んでタッチする。 ② 削除 をタッチする。



お知らせ

所定の総走行距離に達した直後に記録を削除すると、再度記録されてしまうことがあります。その場合は総走行距離が増えるまで移動してから削除をしてください。

記念距離メモリーを設定する

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **記念距離メモリー表示** → **設定** をタッチする。
- 2 各項目の **する** / **しない** をタッチする。

記念距離メモリー

記念距離メモリーによる自動記録を **する** / **しない** を設定できます。

間もなくお知らせ

車の総走行距離が自動記録を行う所定の距離に近づいてきたとき、お知らせを **する** / **しない** を設定できます。

※ “記念距離メモリー” を **する** に設定している場合のみ設定可能です。

※ 所定の総走行距離まであと 10 km 程度になると、数回お知らせを行います。

フロントカメラ映像を表示する

別売のフロントカメラの接続が必要です。またカメラ映像表示への切り換え操作には、オプションボタンの設定が必要です。[P.1-37]

(フロントカメラの機能について詳しくは、別売のフロントカメラの取扱説明書をご覧ください。)

1 (オプションボタン)を押す。

⇒カメラ映像に切り換わります。

※もとの画面に戻したいときは、再度 (オプションボタン) を押してください。

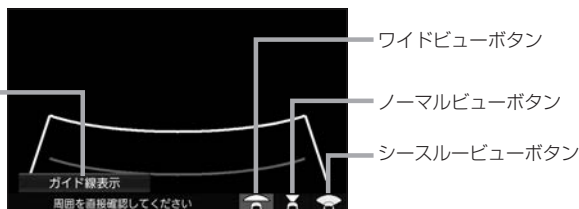
お知らせ

カメラ映像は低速走行時のみ切り換えることができます。

ガイド線の表示を

する / **しない** を切り換えることができます。*1

※ **ガイド線表示** はカメラ映像をタッチすると表示されます。*1



フロントカメラのビューを切り換える

1 切り換えたいビューを選んで操作する。

ワイドビュー	①ワイドビューボタンをタッチする。
ノーマルビュー	①ノーマルビューボタンをタッチする。
シースルービュー (ノーマル)	①シースルービューボタンをタッチする。 ②カメラ映像をタッチし、 シースルービュー切換 をタッチする。 ③ シースルービュー(ノーマル) をタッチする。 ④ 決定 をタッチする。
シースルービュー (ワイド)	①シースルービューボタンをタッチする。 ②カメラ映像をタッチし、 シースルービュー切換 をタッチする。 ③ シースルービュー(ワイド) をタッチする。 ④ 決定 をタッチする。

ガイド線の表示／非表示を切り換える

※シースルービューに切り換えているときはガイド線表示をしません。

1 カメラ映像をタッチし、**ガイド線表示** をタッチする。

2 **する** / **しない** をタッチする。

(**する** : ガイド線を表示、 **しない** : ガイド線を非表示)

3 **決定** をタッチする。

* 1…シースルービューに切り換えているときは、ガイド線の表示を切り換えることができません。

フロントカメラの設定をする

1 MENU → 設定／情報 → システム設定 → フロントカメラ設定 をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)をタッチする。

自動表示モード

フロントカメラ映像に自動で切り換えるかどうか設定できます。

登録地点連動 …… カメラ地点(カメラ映像の自動切替設定がされている登録地点)に近づいたとき、自動でカメラ映像に切り換えます。

※低速で走行していない場合はカメラ映像に切り換えません。

速度連動 …… 車が低速走行になると、自動でカメラ映像に切り換えます。

しない …… 自動でカメラ映像に切り換えません。

インジケータ表示

情報バーに  アイコンを表示 **する** / **しない** を設定できます。

※アイコンが緑色：自動表示モードが **登録地点連動** または **速度連動** に設定されている

アイコンが灰色：自動表示モードが **しない** に設定されている

リアカメラ映像を表示する

車両にリアカメラ(リアワイドカメラ)が装備されている場合、本機でカメラ映像を表示することができます。(リアカメラについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。)

1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

⇒カメラ映像に切り換わります。

※リバース以外に入れると、もとの画面に戻ります。

お知らせ

本機の起動直後にリアカメラ映像に切り換えたとき、ガイドラインが表示されるまで、少し時間がかかることがあります。また、ガイドラインが表示される直前に黒画面になる場合があります。

タッチすると、下記のボタンが表示されます

ダイナミックガイドラインOFF *2

: ON⇔OFFが切り換わります。

ガイドライン表示OFF

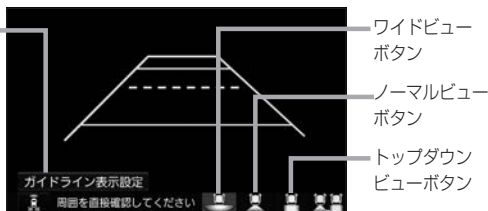
: ON⇔OFFが切り換わります。

後退駐車サポートOFF *1*3

: ON⇔OFFが切り換わります。

決定

: ガイドライン表示設定を終了します。



後退駐車サポートのON/OFFを切り換えます。[P] I-25

ダブルビューボタン*1

※ **ガイドライン表示設定** は、カメラ映像をタッチすると表示されます。

リアカメラのビューを切り換える

- 1 切り換えたいビューのボタン(ワイドビューボタン／ノーマルビューボタン／トップダウンビューボタン／ダブルビューボタン*1)をタッチする。

ガイドラインの表示／非表示を切り換える

- 1 カメラ映像をタッチし、**ガイドライン表示設定** をタッチする。
- 2 **ガイドライン表示ON** ／ **ガイドライン表示OFF** をタッチする。
- 3 **決定** をタッチする。

ダイナミックガイドラインのON／OFFを切り換える *2

- 1 カメラ映像をタッチし、**ガイドライン表示設定** をタッチする。
- 2 **ダイナミックガイドラインON** ／ **ダイナミックガイドラインOFF** をタッチする。
※ガイドラインを表示している必要があります。
※トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインをONにすることはできません。
- 3 **決定** をタッチする。

* 1…リアカメラ de あんしん プラス 2 (ダブルビュー) が接続されている場合のみ

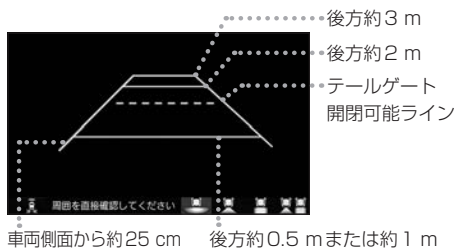
* 2…車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。[P] A-11

* 3…ダブルビュー表示中のみボタン表示され、ダイナミックガイドラインがONの場合のみ操作が可能です。
(後退駐車サポート [P] I-27)

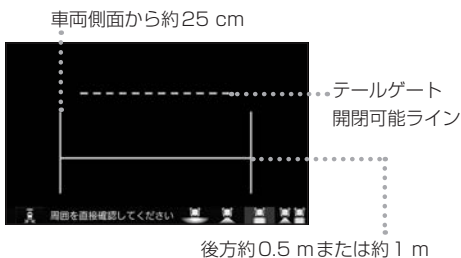
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラのビュー切り換えなど徐行であれば停車しなくても操作可能な場合がありますが、操作をするときは十分に周囲の安全を確認しながら行ってください。

ガイドラインの見かた

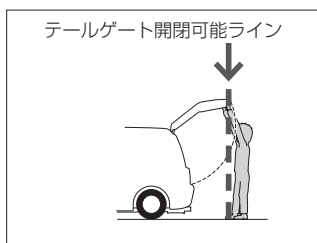
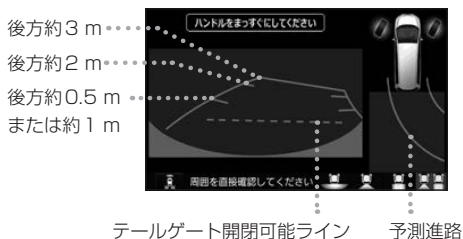
ノーマルビューおよびワイドビューの場合



トップダウンビューの場合



ダブルビューの場合



お知らせ

- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときはガイドラインと実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

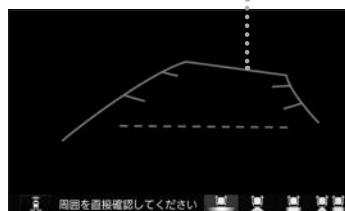
リアカメラ映像を表示する

ダイナミックガイドラインについて

ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインで、ハンドル角度に合わせてラインの向きが変わります。

- ノーマルビュー／ワイドビュー／ダブルビューのときにハンドルを大きく切ると、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。
※ダイナミックガイドラインをONにしておく必要があります。[P] 1-22
- トップダウンビューの場合はダイナミックガイドラインに切り換えることはできません。

ダイナミックガイドライン



リアカメラ次回表示ビューの設定について

リアカメラ映像に切り換えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。

※前回トップダウンビューを見ている状態でリアカメラ映像を見終わって、次にリアカメラ映像に切り換えた場合のみ、設定したビューで表示します。

※リアカメラを見終わった後に本機の電源を切っておらず、かつ10 km/hを超えた走行もしない場合は、設定通りには切り換わりません。

設定方法

- ① **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。
- ② “リアカメラ設定次回表示ビュー” の設定項目で次回表示したいビューのボタンを選んでタッチする。

リアカメラ de あんしんプラスを使用する

リアカメラ de あんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットを接続すると、以下の機能を使用することができます。(詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラスの取扱説明書をご覧ください。)

後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせする機能です。

※走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告表示にはレベル低とレベル高があります。

警告レベル低



警報レベル低ではマーク表示で警告します。



：左隣の車線で他車が走行中



：右隣の車線で他車が走行中



：両隣の車線で他車が走行中

警告レベル高



警報レベル高では警報音と画面表示で警告します。

※警報レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

車線キープサポート

車両の車線逸脱の可能性を検知すると、運転者にお知らせする機能です。

※走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。



警報音と画面表示で警告します。

後退出庫サポート

駐車場などから後退出庫するときに、リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両等を検知し、運転者にお知らせする機能です。

接近物に枠を表示します。
(ワイドビューの場合のみ)

後方に接近物を検知すると
接近矢印表示(➡)します。

タッチするたびに後退出庫サポートの
ON / OFF が切り換わります。



後退出庫サポートがONになると
アイコンの表示灯が緑色に点灯します。



リアカメラ de あんしんプラスを使用する

後方死角サポート／車線キープサポートのアイコンについて

リアカメラの設定(127)で、それぞれのサポート設定を **する** に設定している場合、地図画面／目的地メニュー画面／AUDIOメニュー画面／オーディオ画面(ラジオ・音楽再生画面のみ)で、それぞれのアイコンが表示されます。



後方死角サポート
のアイコン



車線キープサポート
のアイコン

アイコンをタッチすると、サポート機能のON／OFFを切り換えることができます。

(ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色)

※緑色のアイコンに斜線が表示されているときは、ONにはなっていますが、走行速度が一定以下のため、警告をしない状態であることを示します。

お知らせ

リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作できません。水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。



汚れアイコン

お知らせ

後方死角サポートについて

- このシステムは隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを知らせ、運転者の車線変更の操作の際にサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 車線変更の際は、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車線キープサポートについて

- このシステムは走行車線から逸脱しそうときに警報で注意を促すものであり、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨や霧などの視界不良を補助するためのシステムではありません。
- 常に周囲の状況を確認し、安全運転を心掛けて走行してください。

後退出庫サポートについて

- このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って後退を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リアカメラdeあんしんプラスの設定をする

1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** ／ **しない** など)を選んでタッチする。

リアカメラ設定次回表示ビュー

1-24

後方死角サポート

車線キープサポート

後退出庫サポート

後退駐車サポート*1

各サポート機能を使用 **する** ／ **しない** をそれぞれ選択できます。

運転支援警報音

後方死角サポート・車線キープサポート・後退出庫サポートの警報音の音量を **-** ／ **+** をタッチして設定できます。

リアカメラdeあんしんプラス2(ダブルビュー)を使用する

リアカメラdeあんしんプラス2(ダブルビュー)に対応したリアカメラと専用ユニットを接続すると、以下の機能を使用することができます。(詳しくは、別売のリアカメラdeあんしんプラス2(ダブルビュー)の取扱説明書をご覧ください。)

後退駐車サポート

後退して駐車するとき、車両後方の駐車枠を検出し、自車の進路と駐車枠との角度のズレをガイドラインの色でお知らせする機能です。

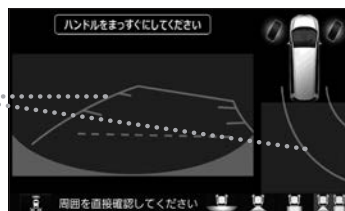
※リアカメラ映像をダブルビューに切り換えているときのみ動作します。

自車の進路と駐車枠との角度のズレに応じて、ガイドラインの色が変わります。

ズレ小 ←→ ズレ大

緑色 ⇄ 水色 ⇄ 青色

※赤色：駐車枠が検出できていない状態です。



その他の機能

後方死角サポート

車線キープサポート

後退出庫サポート

1-25

後退駐車サポートのON／OFFを切り換える

1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。

2 “後退駐車サポート” の **する** (ON) ／ **しない** (OFF) を選んでタッチする。

* 1…リアカメラdeあんしんプラス2(ダブルビュー)に対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合のみ

パーキングセンサー表示

車両周囲の障害物をセンサーで検知すると、本機の画面で注意を促す表示を行います。（詳しくは、車両の取扱説明書をご覧ください。）

※車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

※パーキングセンサーの装着個数は車両によって異なります。

カメラ映像以外の画面のとき

障害物を検知すると、パーキングセンサー画面を割り込み表示して、その画面上に注意表示をします。

パーキングセンサー画面



車両前方の注意表示

(:左前方、:真ん中左前方、:真ん中右前方、:右前方)

パーキングセンサー画面を消します。

■ 障害物を検知したときの作動状態

ブザー音の間隔	インジケーター			
	左前方	真ん中左前方	真ん中右前方	右前方
長い	—	: 黄色 1 本	: 黄色 1 本	—
短い	: 橙色 1 本	: 橙色 2 本	: 橙色 2 本	: 橙色 1 本
非常に短い	: 橙色 2 本	: 橙色 3 本	: 橙色 3 本	: 橙色 2 本
連続	: 赤色 3 本	: 赤色 4 本	: 赤色 4 本	: 赤色 3 本

カメラ映像(リアカメラなど)の画面のとき

障害物を検知すると、カメラ映像の画面上に注意表示をします。

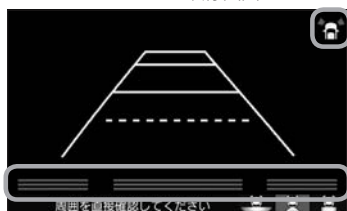
フロントカメラ映像画面



車両前方の注意表示

(≡: 左前方、≡: 真ん中左前方または真ん中右前方、≡: 右前方)

リアカメラ映像画面



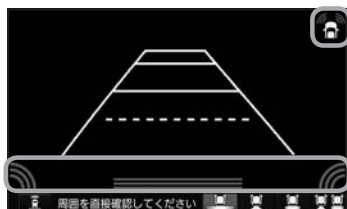
車両前方の注意表示

(◆: 左前方、◆: 右前方)

車両後方の注意表示

(≡: 左後方、≡: 真ん中左後方または真ん中右後方、≡: 右後方)

リアカメラ映像画面(リアカメラdeあんしんプラス2に対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合)



車両前方の注意表示

(//: 左前方、//: 右前方)

車両後方の注意表示

(//: 左後方、≡: 真ん中左後方または真ん中右後方、//: 右後方)

■ 障害物を検知したときの作動状態

ブザー音の間隔	インジケーター	
	左前方、右前方 左後方、右後方	真ん中左前方、真ん中右前方、 真ん中左後方、真ん中右後方
長い	—	黄色
短い	橙色	橙色
非常に短い		
連続	赤色	赤色

パーキングセンサー表示

パーキングセンサーの設定をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **パーキングセンサー設定** をタッチする。
- 2 **する** / **しない** をタッチする。
 - する** ……カメラ映像以外の画面のときにパーキングセンサーで障害物を検知した場合、パーキングセンサー画面を割り込み表示します。
 - しない** ……パーキングセンサー画面の割り込み表示をしません。

フロントカメラ／リアカメラについて

- フロントカメラの機能について詳しくはフロントカメラの取扱説明書を、リアカメラの機能について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。
- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイド線(ガイドライン)は車幅や距離感覚を補うための目安です。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- カメラの取り付け位置や選んだビューによっては、カメラの映像に車両の一部が映る場合があります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。)
- 夜間または暗所などの状況により、カメラの映像が見えない(または見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

走行軌跡を記録する

通った道にしるしを付けて記録し、通った道をあとで確認できます。

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **表示** をタッチし、“走行軌跡”の画面までページ送りする。

- 2 “走行軌跡”の画面で、走行軌跡の記録や表示の操作をする。



走行軌跡の記録を開始する

記録スタート をタッチする。

※記録をやめるには **記録ストップ** をタッチしてください。

走行軌跡の表示／非表示

軌跡表示 をタッチして表示灯の点灯⇄消灯を切り換える。

点灯：記録した走行軌跡を地図上に青い点で表示

消灯：走行軌跡を表示しない

※走行軌跡記録中は軌跡表示をやめることができません。

走行軌跡の記録を削除する

削除 をタッチする。

お知らせ

- 走行軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量を超えると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 走行軌跡の記録をやめ、再度記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- 走行軌跡の記録をやめても、やめるまでの走行軌跡の記録は残っています。走行軌跡の記録を削除するには **削除** をタッチしてください。
- 走行軌跡の記録が無い場合、または記録中は、**軌跡表示** / **削除** の操作ができません。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行中の操作はできません。

地点登録をする

地点を本機に登録できます。(最大300地点・自宅は含まれません。)

※地点を登録するとその地点を地図上にマーク表示できたり、その地点までのルート探索が簡単にできたりして便利です。

1 地図をスクロールして、登録したい地点にカーソル(—|—)を合わせる。

2 **設定** → **地点登録** をタッチする。

※フロントカメラを接続している場合はメッセージが表示されるので、どちらか選んでタッチしてください。

登録地点 : 通常の登録地点として登録

カメラ地点 : 近くとフロントカメラ映像に切り換える地点として登録

お知らせ

QUICKメニューに **地点を登録** を設定(図B-14)している場合は、**地点を登録** をタッチして現在地を地点登録することができます。

internaviでSDカードに保存した地点を本機に登録する

インターナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careのパーソナル・ホームページで登録したMyスポットの地点をSDカードを利用して本機に登録できます。

※あらかじめインターナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careのパーソナル・ホームページから地点の位置情報ファイルをダウンロードして、SDカードに保存しておく必要があります。

1 地点の位置情報ファイルを保存したSDカードを本機に挿入する。

2 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **地点編集** → **SDカードから取り込み** をタッチする。

3 登録したい地点をタッチして✓印を付け、**登録** をタッチする。



その他の機能設定

4 フォルダリストから登録先のフォルダを選んでタッチする。

お知らせ

- 地点情報により、アラーム設定がされる場合もあります。
- 登録した地点を確認するには、「自宅／登録地点の編集をする」(図I-34)を参考に登録地点リストや登録地点詳細画面を表示させて確認してください。

自宅／登録地点の編集をする

1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 地点編集 をタッチする。

2 下表の操作をして、編集したい登録地点の登録地点詳細画面を表示させる。

自宅を編集	自宅編集 をタッチする。
登録地点を編集	① 登録地点編集 をタッチする。 ② リストから編集したい地点を選んでタッチする。 ※フォルダリストが表示された場合は、フォルダを選んでから、地点を選んでください。 登録地点リスト画面(例) 登録地点リスト／フォルダリスト ※ 全削除／登録順／マーク順 はリスト表示が登録地点リスト(全表示 をタッチ時)の場合のみ表示されます。

3 編集したい項目のボタンをタッチして編集をする。

※編集項目と各項目の操作は以降の「登録地点の各編集項目について」を参照してください。

登録地点詳細画面

登録地点に電話番号が登録されていると、**電話する**が表示されます。ハンズフリーで電話ができる状態で **電話する** をタッチすると、登録した番号に電話発信できます。

登録地点の各編集項目について

カメラ映像の自動切換設定

※別売のフロントカメラを接続している場合のみ設定可能です。

①登録地点詳細画面で **カメラ** をタッチする。

② **カメラ地点** をタッチして、表示灯を切り換える。

※タッチするたびに点灯⇄消灯します。

点灯：カメラ地点*1 に設定する、消灯：カメラ地点に設定しない

* 1…カメラ地点に近づくとき自動で別売のフロントカメラ映像に切り換わります。

位置の修正

- ①登録地点詳細画面で **位置修正** をタッチする。
- ②登録地点付近の地図画面になるので、
地図をスクロールしてカーソル(—|—)を新しい位置に合わせる。
- ③ **セット** をタッチする。

アラーム設定

設定した登録地点に近づくときアラーム音が鳴ります。

※音声案内の音量設定([D-11])で消音設定している場合は鳴りません。

※ルート案内中以外でも設定したアラーム音が鳴ります。

- ①登録地点詳細画面で **アラーム** をタッチする。

- ②アラーム音を選んでタッチする。

※アラーム音を鳴らさない場合は **OFF** を
タッチしてください。

- ③案内距離を選んでタッチする。

※選んだ距離まで登録地点に近づくとき、
アラーム音が鳴ります。



アラーム音を選びます。登録地点まで何mの所に近づくときアラームを鳴らすのか、その距離を選びます。

特定の方向から近づいたときのみアラーム音が鳴るように設定できます

- ① **進入角度** をタッチする。
- ②登録地点付近の地図画面になるので、矢印(↖/↗)をタッチして、
自車マーク(▲)の向きを調整する。
※調整した自車マークの向きで近づいたときのみアラームが鳴ります。
- ③ **セット** をタッチする。
※設定を解除するには **進入角度** をタッチして表示灯を消灯させてください。

地図に表示するマークを変更

※カメラ地点として登録されている登録地点や、カメラ映像の自動切替設定をしている登録地点は
マークの変更ができません。

登録地点詳細画面で **マーク** をタッチし、変更したいマークを選んでタッチする。

メモ書きを登録

- ①登録地点詳細画面で **メモ** をタッチする。
- ②文字入力して、**決定** をタッチする。

電話番号を登録

- ①登録地点詳細画面で **TEL** をタッチする。
- ②電話番号を入力して、**決定** をタッチする。

自宅／登録地点の編集をする

登録地点の名称を変更

- ①登録地点詳細画面で **名称** をタッチする。
- ②名称を文字入力して、**決定** をタッチする。

登録地点リスト並べ替え

登録地点リスト(登録順で表示したとき)の並び順を変更できます。

※各登録地点ごとにリストの何番目に移動するか指定して並べ替えます。

※自宅は登録地点リストに表示されないため、並べ替えはできません。

- ①各地点の登録地点詳細画面で **並べ替え** をタッチする。

※登録地点が1個しか無い場合は **並べ替え** は表示されません。

- ②移動先の **挿入** を選んでタッチする。

お知らせ

全ての登録地点を表示している場合は全登録地点で並べ替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内で並べ替えをします。

フォルダに入れる／別のフォルダに移動する

登録地点はフォルダに分けることができます。

※自宅をフォルダに入れることはできません。

- ①登録地点詳細画面で **フォルダ** をタッチする。
- ②フォルダリストから登録地点を入れるフォルダを選んでタッチする。

登録地点用フォルダのフォルダ名を変更できます

※メインフォルダはフォルダ名を変更できません。

- ① **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **地点編集** → **フォルダ名編集** をタッチする。
- ②フォルダリストから名前を変更したいフォルダを選んでタッチする。
- ③フォルダ名を文字入力して、**決定** をタッチする。

自宅／登録地点を削除する

1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 地点編集 をタッチする。

2 下表の操作をする。

自宅を削除	① 自宅編集 をタッチする。 ② 削除 をタッチする。
登録地点を1つ削除	① 登録地点編集 をタッチする。 ② リストから削除したい地点を選んでタッチする。 ③ 削除 をタッチする。
登録地点を全て削除	① 登録地点編集 をタッチする。 ② 全削除 をタッチする。 ※手順①の後、フォルダリストが表示された場合は、全表示 をタッチしてから 全削除 をタッチしてください。

オプションボタンを設定する

本機の  (オプションボタン) により使う機能をひとつ選んで設定することができます。設定すると  を押して、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1 MENU → 設定／情報 → システム設定 → オプションボタン をタッチする。

2 オプションボタンに設定する機能を選んでタッチする。

自宅	現在地表示のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示のとき、右画面地図を表示します。
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除します。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇄夜用を切り換えます。
フロントカメラ切換	フロントカメラを本機に接続している場合、フロントカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーを本機に接続している場合、静止画撮影を行います。

その他の機能と設定

お知らせ

フロントカメラを本機に接続した直後は、オプションボタンの設定が自動的に **フロントカメラ切換** へ変更されます。

キー操作音を設定する

標準キーを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに鳴る操作音を設定できます。

1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **その他設定** → **キー操作音** をタッチする。

2 **操作音 1** / **操作音 2** / **OFF** から選んでタッチする。

※ **OFF** を選ぶと、操作音が鳴らないように設定されます。

セキュリティ機能を設定する

1 **MENU** → **設定／情報** → **セキュリティ設定** をタッチする。

2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない**)を選んでタッチする。

セキュリティ設定

本機をバッテリーから外して再び接続したときに、セキュリティコードを入力しないと本機を起動できないように **する** / **しない** を設定できます。

※車両の装備やグレードによっては、フレーム No. を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。
(この場合、セキュリティコードの入力は不要です。)

セキュリティインジケータ

本機の電源を切ったときに、インジケータが点滅するように **する** / **しない** を設定できます。

※“セキュリティ設定”を **する** に設定している場合のみ設定できます。

盗難多発地点音声案内

盗難多発地点の音声案内を **する** / **しない** を設定できます。

※盗難多発地点付近を目的地に設定したとき、メッセージと音声でお知らせします。

※盗難多発地点付近で本機の電源を切ったとき、音声でお知らせします。

※自宅に設定した場所付近の盗難多発地点については、お知らせを行いません。

盗難多発地点表示案内

盗難多発地点を地図画面にマーク()表示 **する** / **しない** を設定できます。

※マークは盗難の危険が高い順に赤色→黄色→青色で表示します。(地域により基準は異なります。)

※縮尺 200 m 以下の地図で表示します。

市街地図での盗難多発地点表示案内

盗難多発地点を市街地図画面にマーク表示 **する** / **しない** を設定できます。

※“盗難多発地点表示案内”を **する** に設定している場合のみ設定できます。

お知らせ

盗難多発地点は岩手県、宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。

オーディオリモコンスイッチを使う

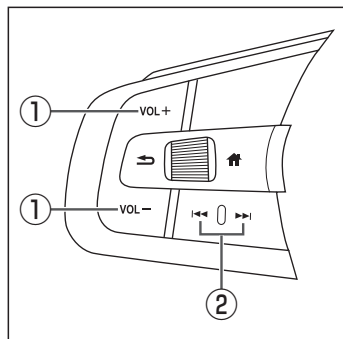
オーディオリモコンスイッチの操作

※オーディオリモコンスイッチは、本機で設定すると各ボタンの機能を変更できます。

(ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。)

下記の操作説明はお買い上げ時の設定で動作する内容を説明しています。

イラストはイメージ図です。



① VOL+ / VOL- ボタン

オーディオ音量／ハンズフリー着信・受話音量／音声案内音量を調整します。

※それぞれの音声の出力中の間、調整できます。

② ◀▶ / ▶▶ ボタン

- 音楽・ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。
- 長押しするとフォルダを送ったり、戻したりします。
※ CD (MP3 / WMA再生時のみ)、SDカード、USBメモリーで音楽を再生しているとき動作します。

オーディオリモコンスイッチを使う

ステアリングリモコン設定

車両のオーディオリモコンスイッチについて、各ボタンの機能をそれぞれ設定することができます。

1 **[MENU]** → **設定／情報** → **システム設定** → **ステアリングリモコン** → **OK** をタッチする。
⇒ステアリングリモコン設定画面が表示されます。

2 設定するオーディオリモコンスイッチのボタンを長押しする。
⇒割り当て機能候補一覧が表示されます。

お知らせ

ボタンを長押ししても割り当て機能候補一覧が表示されない場合、そのボタンでは本設定を行うことができません。

3 候補一覧からボタンに設定したい機能を選んでタッチし、**戻る** をタッチする。

4 **完了** をタッチする。

設定をお買い上げ時に
戻します。



現在各ボタンに設定
されている機能

お知らせ

- オーディオリモコンスイッチのボタンを押すと、押したボタンに該当する欄が青く表示されます。
- 本機の画面表示は、実際のオーディオリモコンスイッチとボタンの数やイラストなどが異なる場合があります。

ステアリングリモコン設定により、各ボタンに設定できる機能の候補は以下のとおりです。

※ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。

※ボタンに設定した機能が動作するにはBLUETOOTH接続などの準備が必要な場合があります。

POWER ON / OFF	オーディオ ON / OFF します。長押しすると画面を消します。
VOL +	オーディオ音量 / ハンズフリー着信・受話音量 / 音声案内音量を調整します。
VOL -	※それぞれの音声の出力中の間、調整できます。
CH UP	次の曲 / ファイルにスキップします。 長押しすると次のフォルダの曲を再生します。
CH DOWN	前の曲 / ファイルにスキップします。 長押しすると前のフォルダの曲を再生します。
SOURCE UP	再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。
SOURCE DOWN	(“SOURCE DOWN” は “SOURCE UP” と逆の順序でオーディオ ソースが切り換わります。) 長押しすると、Drive T@lker を利用した音声認識を起動します。
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除します。
現在地	現在地の地図を表示します。

拡大	地図を拡大します。
縮小	地図を縮小します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
案内開始／停止	現在地の地図画面のとき、ルート案内を開始／停止します。
自宅に戻る	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。
リダイヤル	前回ハンズフリーで電話をかけた番号に発信します。
音声認識	Drive T@lkerを利用した音声認識を起動します。
オンフック	ハンズフリーで通話中のとき、電話を切ります。
オフフック	ハンズフリーの電話機能で以下の動作を行います。 ・ワンタッチダイヤル（  G-13）で電話発信します。 ・長押しするとリダイヤルします。 ・着信中のとき電話に出ます。
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇄夜用を切り換えます。
時計 ON／OFF	オーディオ画面を全画面時計表示に切り換えます。  E-3
画面消し	画面を消して黒画面にします。  I-43
N／A画面切換	地図画面／オーディオ画面を切り換えます。 ※場合によっては切り換わらないときがあります。
右画面地図	現在地の地図画面のとき、右画面地図を表示します。
オプションボタンと同機能	オプションボタン設定で設定した機能を動作させます。
フロントカメラ切換	フロントカメラを本機に接続している場合、フロントカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影します。
ドライブレコーダー録画 ON／OFF * ¹	ドライブレコーダーの手動録画を開始／停止します。
ドライブレコーダー録画 * ²	ドライブレコーダーの手動録画を開始／延長します。
割り当てなし	どの機能も設定しない場合は 割り当てなし を選んでください。

* 1…接続しているドライブレコーダーがDRH-189Nの場合のみ

* 2…接続しているドライブレコーダーがDRH-204VDの場合のみ

画面の画質調整とサイズ切換をする

※リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから調整を行ってください。

※各カメラ映像とオーディオソースの各映像画面については、各画面ごとに個別で調整できます。（一部、調整結果が互いに連動する画面があります。）

※走行中は調整できる項目が限られます。

画質調整をする

1 調整したい画面を表示させて、**MENU**を長押しする。

2 **画質調整**をタッチする。

※調整する画面によっては、**画質調整**のタッチは不要です。

3 調整項目を選んでタッチする。

※調整する画面によっては、調整項目が**明るさ**／**コントラスト**のみになります。

明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いを調整する

① **明るさ**／**コントラスト**／**色の濃さ**／**色合い** から選んでタッチする。

② **◀**／**▶** をタッチして調整する。

明るさ……………**◀**：暗くなる／**▶**：明るくなる
コントラスト…**◀**：弱くなる／**▶**：強くなる
色の濃さ…………**◀**：淡くなる／**▶**：濃くなる
色合い……………**◀**：赤色を強く／**▶**：緑色を強く

画面の明るさを切り換えます。

お買い上げ時の調整に戻します。

お知らせ

- 明るさ調整は昼用と夜用で別々に設定できます。
- 車のライトがONのときは夜用の明るさ、車のライトがOFFのときは昼用の明るさに切り換わります。
※車両のイルミ減光キャンセル機能(LEA-11)が働いているときは、車のライトのON／OFFには連動せず、昼用の明るさになります。
- 画質調整画面の**昼夜切換**をタッチしても、明るさの昼用と夜用を切り換えることができます。
車のライトをONにして画面が暗くなり見づらくなった場合などに、明るさを切り換えてください。

表示サイズを切り換える

1 表示サイズを切り換えたい画面を表示させて、**MENU**を長押しする。

※表示サイズ切り換えができない画面では、**MENU**を長押しすると画質調整画面が表示されます。

2 **ノーマル**／**フル**／**ワイド**／**シネマ**から選んでタッチする。

※TVソースの場合は**シネマ**を選ばません。

ノーマル	映像を4：3で表示* ¹ ※16：9の映像は横方向に圧縮されます。
フル	映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示
ワイド	映像を16：9で表示* ¹ ※4：3の映像は横方向に引きのばして表示されます。
シネマ	ノーマル表示を上下左右方向に引きのばして表示 ※映像は上下が切れて表示されます。

画面を消す

画面を消して黒画面にすることができます。(音声はそのまま聞くことができます。)

1 音量ノブを長押しする。

※黒画面をもとに戻すには音量ノブを押してください。

お知らせ

- カメラ映像を表示する操作をしたり、カメラ映像の自動表示が作動した場合は、画面消し(黒画面)中でも、カメラ映像に自動的に切り換わります。
※カメラ映像が終了すると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- カメラ映像を表示している場合は、音量ノブを長押ししても画面を消すことはできません。

* 1…映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。

データを初期化(消去)する

1 MENU → 設定／情報 → システム設定 → その他設定 → 初期化 をタッチする。

2 初期化したい項目を選んでタッチする。

※メッセージが表示されるので、画面に従ってください。

SDカードの初期化	SDカードのデータを初期化します。
登録データの初期化	登録データ・TV設定以外の設定内容・センサーおよびルートの学習結果を初期化します。*1*2 ※ Gracenote データベースは初期化しません。
センサー学習結果の初期化	自律航法に関する学習結果を初期化します。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果を初期化します。
入力履歴の初期化	名称検索などで行う文字入力の履歴を初期化します。
TVの初期化	TVの設定内容を初期化します。
出荷状態に戻す	全ての登録データや設定内容などを初期化します。*1*2

- 初期化中は他の操作(ソースを切り換えたり車のエンジンスイッチを変更したりなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、選択した項目は消去され、もとに戻せません。
※すでにデータが書き込まれているSDカードを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

お知らせ

- 録音データの初期化は F-5、Gracenote データベースの初期化は F-10、internavi 設定の初期化は H-22 をご覧ください。
- ドライブレコーダー設定を初期化するには、MENU → 設定／情報 → 情報 → ドライブレコーダー → 設定 をタッチし「設定の初期化」の 初期化する をタッチしてください。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。
- 出荷状態に戻す をタッチしたときはオーディオがOFFになります。

本体情報を見る

1 MENU → 設定／情報 → 情報 → 本体情報 をタッチする。

→ 地図バージョンなどが表示されます。

お知らせ

“地図バージョン”の 詳細 をタッチすると、地図データの詳細情報を表示します。

*1…登録データの初期化 / 出荷状態に戻す では、SDカード内のデータ消去は行わないため、Music Rackの録音データは初期化されません。

*2…ドライブレコーダー設定の初期化は行いません。

J

困ったとき

困
っ
た
と
き

故障かな？と思ったら…………… J-2
こんなメッセージが表示されたら…………… J-20

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共通

	症 状	考えられる原因と処置
共通項目	音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。 ⇒ 音量ノブで調整してください。[E] A-8 音質・音量バランスが片方に寄っている。 ⇒ フェード・バランスを正しく調整してください。 ※ 2スピーカーの場合はFADEとBALANCEを“0”に合わせます。 [E] E-40 本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 ⇒ 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。 車両側の操作により緊急サポートに電話をかけている。 ⇒ 故障ではありません。“サポートセンターへ接続しています。”のメッセージが表示され、音声が一時的に消音になります。
	本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。 ⇒ 消失したデータについては補償できません。
	ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。 ⇒ ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついていないディスクは使用しないでください。 ※ ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。
	ディスクを読み込まない。	
	タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。 ⇒ 保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シートなどを取り外してご使用ください。
	音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW / MIDDLE / HIGHになっている。 ⇒ 車速連動音量をOFFに設定してください。[E] E-41 電力消費を抑えるため、一時的に音量を抑える機能が働いている。 ⇒ 車のセレクトレバーをパーキングに入れる、またはエンジンを再始動して一定距離を走行してください。
	ディスクを取り出したときディスクが熱い。	● 本機を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。 ⇒ 長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。
	ディスプレイが閉じない。	SDカードが完全に挿入されていない。 ⇒ カードを挿入しなおしてください。(カチッと音がするまで挿入してください)

	症 状	考えられる原因と処置
共通項目	ディスプレイが閉じない。	地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない。 ⇒ 地図SDカード挿入口カバーを正しく取り付けてください。【図 A-8】
	時計表示が「--:--」と表示される。	GPS 衛星から時刻情報を取得できていない。 ⇒ GPS 衛星からの電波が安定するまでお待ちください。
	標準キー(【現在地】キーなど)のキー照明が、車のライトをONにしても点灯しない(明るくならない)。	車両側にイルミ減光キャンセル機能(【図 A-11】)があり、これが働いているときは、車のライトをONにしてもキー照明は点灯しません(明るくなりません)。

	症 状	考えられる原因と処置
モニター	映像が出ない。	走行している。 ⇒ 走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。 明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。 ⇒ 明るさ／コントラストを調整してください。【図 I-42】 画面が消えている。 ⇒ 画面をタッチして、画面を表示させてください。
	画面が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。 ⇒ 画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしているときは、画面は明るくなります。 【昼夜切換】をタッチして夜用の明るさに切り換えている。 ⇒ 【昼夜切換】をタッチして昼用の明るさにしてください。【図 I-42】
	画面の明るさが自動で切り換わらない。 (車のライトをONにしても画面が暗くならない)	車両側にイルミ減光キャンセル機能(【図 A-11】)があり、これが働いているときは、車のライトのON／OFFで切り換わりません。
	画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。 ⇒ 携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。
	画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。 ⇒ まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。
	DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。 ⇒ 明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。【図 I-42】
	映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。 ⇒ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。 ⇒ 故障ではありませんので、そのままご使用ください。

故障かな？と思ったら

ナビゲーション

	症 状	考えられる原因と処置
地図画面	車のライトをON／OFFしても地図色が切り換わらない。	スモール運動 に設定されていない。 ⇒ 昼夜切換を スモール運動 に設定してください。〔図 B-7 車両のイルミ減光キャンセル機能(〔図 A-11])が働いているときは、車のライトのON／OFFには連動せず、昼モードで表示します。
	平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。 ⇒ 故障ではありません。
	現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。 ⇒ GPS衛星電波を受信してください。〔図 K-3
	自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地の地図画面になっていない。 ⇒ 〔現在地〕を押してください。
	自車マークが表示されない。	
	走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。 ⇒ 故障ではありません。
	地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。 ⇒ アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにベンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。 GPS衛星の受信感度が悪い。 ⇒ GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。
	自車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システム他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。 ⇒ しばらく(およそ30 km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。 GPS内蔵レーダー探知機を設置している。 ⇒ 本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。

	症 状	考えられる原因と処置
ルート案内	音声案内しない。	探索されたルートを外れている。 ⇒ 探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。
		ルート案内が停止になっている。 ⇒ ルート案内を開始してください。[F D-5]
		消音 をタッチして音声が出ないようにしている。 ⇒ 消音 をタッチして解除してください。[F D-11]
	実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。 ⇒ 実際の交通ルールに従って走行してください。
	目的地の到着予想時刻の誤差が大きい、または「--：--」と表示される。	時計表示が「--：--」と表示されている（GPS 衛星から時刻情報を取得できていない）。 ⇒ GPS 衛星からの電波を受信し、時計表示の時刻が正しく表示されるまでお待ちください。
	再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。 ⇒ 通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。
	ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。 ⇒ 目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
		ルート案内が停止になっている。 ⇒ ルート案内を開始してください。[F D-5]
	ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示） ⇒ 探索されたルート上を走行してください。
	自動再探索ができない。	道幅が 3 m 以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。 ⇒ 探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。
	経由地が設定できない。	すでに経由地を 5 か所設定している。 ⇒ 経由地は 6 か所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
ルート探索	探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。 ⇒ 目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。 出発地と目的地が近い。 ⇒ 故障ではありません。
	遠回りな自動ルートを探索する。	探索では、広い道路を優先して使用する場合がありますため、遠回りなルートになることがあります。 ⇒ 故障ではありません。 出発地、目的地付近の道路に規制がある（一方通行など）ときに遠回りのルートを出すことがあります。 ⇒ 出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。 細街路を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地（経由地）付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。 ⇒ 故障ではありません。 車の方向（矢印の向き）が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。 ⇒ 故障ではありません。
	ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。 ⇒ 地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。
	出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。 ⇒ 近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
	意図したルートとは違うルートが引かれる。	● 目的地の近くに探索可能な道路がない。 ● 目的地を建物の中心に設定している。 ⇒ 目的地と逆の車線に設定されたりして、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。 中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。 ⇒ 一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。
	症 状	考えられる原因と処置
VICS	VICS 情報が表示されない。	VICS 情報を受信していない。 ⇒ 情報を受信していないときは、表示できません。

オーディオ

	症 状	考えられる原因と処置
CD	CD ソースに切り換わらない。	ディスクが挿入されていない。 ⇒ ディスクを挿入してください。
	● 再生しなかったり、 大きな雑音が出たり、 再生が途中で止まる。	ディスクに問題がある。 ⇒ 他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性 があります。
	● 音が飛んだり音質が 悪い。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 ⇒ ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとる など)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでく ださい。LP K-25
		ディスクにラベルが貼ってある。 ⇒ ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまっ てしまうおそれがあります。ラベルがはがれていないか確認してください。 はがれているディスクは挿入しないでください。
		CD-R の場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右 されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないとか音切れや音飛 びをしたり、再生できない場合があります。 ⇒ 書き込み速度を遅くすると、安定して書き込みますので一番遅い速度での 書き込みをお試しください。
		結露している。 ⇒ 本機をしばらく放置してから使ってください。
	ディスクが入らない。	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。 ⇒ 入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。
	CD-R や CD-RW を 再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。 ⇒ ディスクをファイナライズしてください。
	ディスクを取り出した ときディスクが熱い。	● 本機を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。 ⇒ 長時間使用すると本機内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク 自体が熱くなっていることがあります。本機のディスク読み取り性能および ディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。
	MP3／WMA ファイル を再生できない。	CD-DA データと MP3／WMA ファイルが混在しているディスクを再生しよう とした。 ⇒ CD-DA データと MP3／WMA ファイルが混在している場合、MP3／ WMA ファイルは再生できません。
		MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いてい ない。 ⇒ MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付 いたディスクに交換してください。
		ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されて いない。 ⇒ ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録され たディスクに交換してください。

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
CD	MP3／WMA ファイルを再生できない。	対応していないビットレートで記録されている。 ⇒ 対応しているビットレートで記録されたMP3／WMA ファイルにしてください。[P] K-32
	再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 ⇒ ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
	再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。 ⇒ ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)
	聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 ⇒ MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。
	フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 ⇒ ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性があります。 ⇒ ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。
	CDのタイトル情報が異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル情報の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。) ⇒ オンライン検索をしてタイトル情報を更新してください。[P] E-6

	症 状	考えられる原因と処置
ラジオ	自動選局ができない。	強い電波の放送局が無い。 ⇒ 手動で選局してください。[E-22]
	放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。	トンネルの中など放送局の電波が弱い。 ⇒ 場所を移動し、手動でリスト更新してください。[E-23]
	“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。 ⇒ 他のチャンネルを選局してみてください。[E-22]
	● ラジオが受信できない。 ● ラジオの入りが悪い。	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 ⇒ 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
		エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。 ⇒ 車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 ⇒ 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
		周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ⇒ 新しい周波数をプリセットのリストに登録してください。[E-23]

	症 状	考えられる原因と処置
iPod	音声流れない。	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。 ⇒ iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り換えてください。
	正常に動作しない。	接続不良。 ⇒ iPodが正しく接続されているか確認してください。[E-24] iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。
		再生可能なデータがない。 ⇒ 再生可能なデータをiPod本体に転送してください。
		iPodのソフトウェアバージョンが古い。 ⇒ iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。
		iPodが正常に動作していない。 ⇒ iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。
	iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。 ⇒ オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。
	再生中のタイトルが正しく検索されない。	タイトル情報が入っていない曲を検索している。 ⇒ タイトル情報が入っていない曲はiPod／iPhoneの機種、バージョンによっては検索ができない場合があります。

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
Music Rack	CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が 手動録音 に設定されている。 ⇒ 録音設定を 自動録音 に設定してください。[F-4]
		MP3／WMAを再生している。 ⇒ MP3／WMAは録音できません。 音楽CDが挿入されているかご確認ください。
	録音できない。	SDカードの容量が不足している。 ⇒ 空き容量を確認してください。[F-12] 録音済みの曲(アルバムやトラック)を削除すると新たに録音できます。 [F-5]
		誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ⇒ SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると録音できません。「LOCK」を解除してください。
		SDカードが壊れている。 ⇒ 別のSDカードに交換して使用してください。
		ディスクにキズ、汚れ、反りがある。 ⇒ ディスクを確認してください。ディスクにキズ、汚れ、反りがあると録音できない場合があります。
	録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(✓印を消している。) ⇒ ✓印を付けてください。[F-12]
		SDソースを選んでいる。 ⇒ 本機で録音した曲を再生する際は、Music Rackソースを選んでください。
	録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。	録音曲数が多い。 ⇒ 曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。
	[現在地]を押しても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中である。 ⇒ 更新後または初期化後に押してください。
	ジャケット写真を登録できない。	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 ⇒ 対応しているファイル形式で記録されたJPEG ファイルを使用してください。
	ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 ⇒ 176×176ピクセル以上、1 024×1 024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。

	症 状	考えられる原因と処置
SD / USB	SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ⇒ SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。
	再生画面を表示しない。	SDカード未挿入またはUSBメモリー未接続である。 ⇒ SDカードを挿入またはUSBメモリーを接続してください。
	再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。 ⇒ SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。[P] I-44
		本機で再生できないSDカード／USBメモリーを挿入／接続している。 ⇒ 再生可能なSDカード／USBメモリーを挿入／接続してください。 ⇒ 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。 [P] K-32、K-34、K-35
		動作モードが間違っている。 ⇒ 再生したい動作モードを選んでください。[P] E-34、E-37、E-38
		結露している。 ⇒ SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。
	再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリーに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 ⇒ ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
	再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。 ⇒ 拡張子を確認してください。[P] K-32、K-35
	ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。 ⇒ フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角240文字、全角120文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。
	ファイル再生が記録した順と異なる。	SDカード／USBメモリー書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性がある。 ⇒ SDカード／USBメモリーへ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
SD / USB	音楽ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。 ⇒ 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。 [E] K-32
		音楽ファイル を選んでいない。 ⇒ モード切換 で 音楽ファイル に切り換えてください。[E] E-34
		● 著作権保護された音楽データで記録されている。 ● SD-Audio で録音された音楽を再生しようとした。 ⇒ 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio 規格など)は再生できません。 対応しているファイル形式で記録されたファイルを再生してください。
		本機では使用できない文字でフォルダ名／ファイル名が付けられている。 ⇒ 本機で使用可能な文字でフォルダ名／ファイル名を付けてください。 [E] K-32
	JPEG ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。 ⇒ 対応しているファイル形式で記録された JPEG ファイルにしてください。 [E] K-34
		画像ファイル を選んでいない。 ⇒ モード切換 で 画像ファイル に切り換えてください。[E] E-37
	AAC ファイルを再生できない。	AAC ファイルに画像データ(iTunes のアートワークを除く)、映像データが混在している SD カード／USB メモリーを再生しようとした。 ⇒ AAC ファイルに画像データ(iTunes のアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合 AAC ファイルは再生できません。
	音楽ファイル再生時にエラーメッセージが表示される。	Mac で作成したファイルを SD カード／USB メモリーで再生している。 ⇒ Mac でファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると、再生時にエラーが発生します。使用する SD カード／USB メモリーから隠しファイルを削除してください。
	USB メモリーを認識していない。	対応していない USB メモリーの可能性があります。 ⇒ 本機で対応している USB メモリーか確認してください。[E] K-28
		USB メモリーが正しく接続されていない。 ⇒ 正しく接続されているか確認してください。[E] E-34
		USB 接続ジャックが正しく接続されていない。 ⇒ Honda 販売店にお問い合わせください。

	症 状	考えられる原因と処置
SD / USB	ジャケット写真が表示できない。	MP3 / WMA / AAC / FLAC ファイルにジャケット写真が登録されていない。 ⇒ iTunes、Windows Media Player などのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。 登録されている画像が対応していないファイル形式で記録されている。 ⇒ 対応しているファイル形式で記録されたJPEG ファイルを使用してください。 登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 ⇒ MP3 / WMA / AAC / FLAC ファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。 1 つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。 ⇒ 1 つの音楽ファイルには、1 つの画像のみ登録してください。
	音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 ⇒ MP3 / WMA / AAC / FLAC ファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
	ジャケット写真が小さく表示される。	登録されている画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 ⇒ 176 × 176 ピクセル以上、1 024 × 1 024 ピクセル以下の画像サイズを推奨します。

	症 状	考えられる原因と処置
DVD	字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。 ⇒ 字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。 字幕がOFFになっている。 ⇒ 設定を変えてください。[E-9]
	音声が出ない。	一時停止、スロー戻し / スロー送り中である。 ⇒ 通常再生にしてください。
	再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。 ⇒ 記録面を下にして、正しくセットしてください。 ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 ⇒ ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。[K-25]

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
DVD	再生を始めない。	ディスクにラベルが貼ってある。 ⇒ ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。
		結露している。 ⇒ ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。
		本機で再生できないディスクを入れている。 ⇒ 本機で再生できるディスクを入れてください。【P K-24】
		本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。 ⇒ 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」（2を含むもの）または「ALL」のDVDビデオを再生してください。
		視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 ⇒ DVD設定の視聴制限レベルを確認してください。【P E-13】
	“⊙”（禁止マーク）を表示するだけで、操作ができない。	● 再生しているディスクがその操作を禁止している。 ● ディスクの構造上対応できない操作をしている。 ⇒ 再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。再生しているディスクを確認してください。（ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。）
	音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。 ⇒ ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。【P K-25】
		振動の生じるところで使用している。 ⇒ 本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。
	音声言語／字幕言語が切り換わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。 ⇒ 故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り換えることはできません。
		再生しているDVDビデオが、言語の切り換えを禁止している。 ⇒ 故障ではありません。言語を切り換えることはできません。
	字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。 ⇒ 故障ではありません。字幕を消すことはできません。
	アングルを切り換えることができない。	再生しているDVDビデオに、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。 ⇒ 複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り換えることはできません。アングルが収録されている所で切り換えてください。
		再生しているDVDビデオが、アングルの切り換えを禁止している。 ⇒ 故障ではありません。アングルを切り換えることはできません。

	症 状	考えられる原因と処置
DVD	タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 ⇒ DVD 設定の視聴制限レベルを確認してください。[P E-13]
	視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオに、視聴制限が収録されていない。 ⇒ 故障ではありません。視聴制限をすることはできません。
	視聴制限を解除できない。	パスワードが間違っている。 ⇒ 正しいパスワードを入力してください。
		パスワードを忘れてしまった。 ⇒ 「0000」と入力してください。
	DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語” が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。 ⇒ “メニュー言語” を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。[P E-10]
	VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。 ⇒ ディスクのファイナライズ処理をしてください。

	症 状	考えられる原因と処置
TV	文字スーパーが出ない。	文字スーパーのある番組を選局していない。 ⇒ 文字スーパーのある番組を選局してください。
		文字スーパーの表示設定で 表示しない にしている。 ⇒ 文字スーパーの表示設定で言語を選んでください。
		受信モードがワンセグである。 ⇒ ワンセグの場合、文字スーパーは表示されません。
	字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。 ⇒ 字幕のある番組を選局してください。
		字幕表示の設定がされていない。 ⇒ 字幕表示を設定してください。[P E-16]
	受信できない。	長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ⇒ スキャンを行ってください。[P E-19]
	映像が止まったりモザイクがかかる。	電波が弱い場所で受信している。 ⇒ 12セグ/ワンセグを自動で切り換える設定にしておくとう受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り換わるため映像が止まりにくくなります。[P E-15] ※自動で切り換える設定にしても、放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があるため、映像が映らない場合があります。
	データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。 ⇒ 多少時間がかかることがあります。 しばらくお待ちください。

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
TV	本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。 ⇨ 消失したデータについては補償できません。

	症 状	考えられる原因と処置
BLUETOOTH Audio	BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない。	本機との接続情報が消えてしまう。 ⇨ 再度登録してください。 ● BLUETOOTH Audio 対応機器の設定が、BLUETOOTH 接続待ちの状態になっていない。 ● 本機から接続を受けつけない。 ● 特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器の説明書をご確認ください。
	音楽が流れない。	BLUETOOTH Audio の音声転送プロファイルである、A2DP が接続されていない。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器が A2DP に対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し(▶ E-30)、再度登録(▶ E-29)してください。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては、A2DP に対応していても音楽が流れない場合があります。
	BLUETOOTH Audio 対応機器の操作を本機からできない。	BLUETOOTH のリモコン操作プロファイルである、AVRCP が接続されていない。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器が AVRCP に対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらず操作ができない場合は、一度登録を削除し(▶ E-30)、再度登録(▶ E-29)してください。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては、AVRCP に対応していても操作ができない場合があります。
	● 音が飛ぶ。 ● 操作がおくれる。 ● 再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。	BLUETOOTH Audio 対応機器が本機から離れすぎている。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器を本機に近づけてください。 ハンズフリー、データ通信などを行っている。 ⇨ 故障ではありません。 通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。
	リストが操作できない。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。 ⇨ AVRCP ver.1.4 に対応した機器を使用してください。 ⇨ BLUETOOTH Audio 対応機器によっては AVRCP ver.1.4 に対応していても、リスト表示ができない場合があります。

	症 状	考えられる原因と処置
ハンズフリー	ビルの谷間などで音声が入る。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさざぎられたりしている。 ⇒ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。 ⇒ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。 ⇒ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。 ⇒ 携帯電話の電波状況がよい場所に移動してください。
	音が出ない。 ● 相手の声が聞こえない。 ● 着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。 ⇒ 着信音量、受話音量を調整してください。【図】 G-14
		携帯電話が本機より離れすぎている。 ⇒ 携帯電話を本機に近づけてください。 ⇒ 携帯電話の電波状態を確認してください。
	相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中) ⇒ 送話音量を上げるか(【図】 G-14)、ミュートを解除(【図】 G-9)してください。
		携帯電話(相手側を含む)によっては、ノイズキャンセルを ON にすると自分の声が途切れて相手にうまく伝わらない場合がある。 ⇒ ノイズキャンセルを OFF にしてください。聞き取りやすくなる場合があります。【図】 G-14
	通話後、オーディオの音声が入らない。	音量を下げているまたは音を消している。 ⇒ 音量を上げてください。【図】 A-8
	携帯電話と接続できない。	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。 ⇒ 携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチをOFF→ONにしてください。 BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。 ⇒ 対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。【図】 G-3

故障かな？と思ったら

	症 状	考えられる原因と処置
損耗認識 (Drive T@lker)	音声認識を利用できない。	スマートフォンが本機とBLUETOOTH接続されていない。 ⇒ BLUETOOTH 接続を確認してください。
		スマートフォンで「Drive T@lker」アプリを起動していない。 ⇒ スマートフォン側の「Drive T@lker」アプリを起動してから、本機で音声認識を開始してください。
		本機の割り当て設定が正しく設定されていない。 ⇒ Drive T@lker を使用するスマートフォンに、ハンズフリー()と Drive T@lker NaviCon()の両方を割り当て設定してください。  G-2
		スマートフォンのWi-Fi機能を利用している。 ⇒ スマートフォンを携帯電話回線に切り換えてください。
		スマートフォンの省電力機能をONにしている。 ⇒ スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。
		スマートフォンで「Drive T@lker」以外のアプリを起動している。 ⇒ 「Drive T@lker」以外のアプリは終了させてください。
		スマートフォンにDrive T@lker 画面と違う画面が表示されている。 ⇒ スマートフォンにDrive T@lker 画面が表示されているか確認してください。
	サーバーへの接続が失敗する。	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できない場合がある。 ⇒ 場所を移動して、電波状況の良い場所でお使いください。 ⇒ しばらくしてから音声認識を開始してください。
	発話しても認識しない、誤認識が多い。	周りで雑音が多い。 ⇒ 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適切な音量ではっきり発話してください。
		音声ガイドの後、効果音が鳴る前に発話した。 ⇒ 効果音が鳴ってから、発話してください。
		声が小さい。 ⇒ 適切な音量ではっきり発話してください。
	音声ガイドが出力されない。	本機またはスマートフォンの音量が小さい。 ⇒ 本機またはスマートフォンの音量を確認してください。

	症 状	考えられる原因と処置
フロントカメラ*1 ／ リアカメラ*2	フロントカメラ映像が出ない。	高速で走行している。 ⇒ 低速で走行してください。
	リアカメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。 ⇒ セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。
	カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。 ⇒ 水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
	カメラ映像に白い光の縦線が入る。	● 太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。 ● 車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。 ⇒ CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。
	カメラのガイド線(ガイドライン)が表示されない。	ガイド線(ガイドライン)表示が設定されていない。 ⇒ Honda 販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。 ガイド線(ガイドライン)を非表示にしている。 ⇒ ガイド線(ガイドライン)表示に切り換えてください。 (フロントカメラの場合 図 P-20、リアカメラの場合 図 P-22)
	カメラのガイド線(ガイドライン)表示が正しく合っていない。	ガイド線(ガイドライン)表示が正しく調整されていない。 ⇒ Honda 販売店で調整が必要です。 乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。 ⇒ 平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド線(ガイドライン)表示の調整が必要な場合はHonda 販売店にご相談ください。
	リアカメラdeあんしんプラスの警告が行われない。	後方死角サポート、車線キープサポート、後退出庫サポートの各設定が しない になっている。 ⇒ 警告表示したい機能の設定を する にしてください。 図 P-27 後退出庫サポートのアイコンの表示灯が消灯している。 ⇒ アイコンをタッチして表示灯を点灯させてください。 図 P-25 徐行している。 ⇒ 後方死角サポート、車線キープサポートは走行速度が一定以上でないと警告しません。

* 1…フロントカメラの機能について詳しくはフロントカメラの取扱説明書をご覧ください。

* 2…リアカメラの機能について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
	〇〇〇に失敗しました。 ※「〇〇〇」には取得中 または同期中の情報の 名称	情報取得中、通信に何らかの異常が発生した。 ⇒ 再度操作を行ってください。 通信中に通信圏外へ移動した。 ⇒ 通信圏内に移動して操作してください。
C	CDを読み込めませんでした。 CDの状態を確認し、もう一度録音してください。	CDに汚れ、傷がある。 ⇒ CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。 [P K-25]
E	ETCカードが挿入されていません。	カード入れ忘れ警告の設定を「する」に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。 ⇒ ETCカードを挿入してください。
	ETCカードの有効期限が切れています。ETCが利用できません。	有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをアクセサリ、またはONに入れた。 ⇒ 有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。
	ETCカードを確認してください。	ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。 ⇒ 正常な状態のETCカードを挿入してください。
	ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください。	ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。 ⇒ Honda販売店にご相談ください。
	ETCユニットがセットアップされていません。	ETC車載器本体がセットアップされていない。 ⇒ ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。
I	iPodと通信できません。 iPodを接続しなおしてください。	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。 ⇒ iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。
S	SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。	SDカード内に該当するデータがない。 ⇒ あらかじめインターナビ プレミアムクラブまたはHonda Total Careのパーソナルホームページからダウンロードした位置情報ファイルを、SDカードに保存しておく必要があります。
	SDカード内の再生管理データが読み取れません。 電源(キースイッチ)を入れ直すことで、復旧する場合があります。復旧しない場合は、SDカードを確認してください。	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。 ⇒ 車のエンジンスイッチを一旦OFFに入れてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをアクセサリ、またはONに入れてください。
	SDカードを挿入してください。	SDカードが挿入されていない。 ⇒ SDカードを挿入してください。 SDカードは挿入されているが、認識できない。 ⇒ SDカードを一旦取り出し、再度確実に挿入してください。

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
U	USB機器を接続してください	USBメモリーが接続されていない、またはiPodが接続されている。 ⇒ 本機で対応しているUSBメモリーを接続してください。[P K-28]
	USB通信機器が切断されました。	専用通信機器の接続が外れた。 ⇒ 専用通信機器を正しく接続してください。 [P H-6]
		通信中に専用通信機器に何らかの異常が発生した。 ⇒ Honda 販売店にお問い合わせください。
あ	暗証番号が異なります。 暗証番号を再入力してください。	会員ID(フレームNo.)が正しく設定されていない。 ⇒ 本機でフレームNo.を確認し、会員ID(車検証に記載の車台番号)と同じかどうか確認してください。[P H-5]
		カーナビ用パスワード(暗証番号)を間違えて入力している。 ⇒ 「登録完了のご案内」に記載されているカーナビ用パスワード(暗証番号)を確認して、再度入力してください。
か	画面が表示されるまでしばらくお待ちください。 しばらく経っても表示されない場合は、iPhoneのUSBケーブルを抜き差しして再度操作してください。	iPhoneが通信できていない。 ⇒ iPhoneを抜き差ししてください。抜き差ししても症状が改善されない場合はiPhoneの電源を入れ直してください。
け	携帯電話の接続が解除されました。	携帯電話との接続が切れた。 ⇒ 携帯電話を本機に近づけてください。 ⇒ 対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。[P G-3]
こ	この情報は表示できません。	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。 ⇒ 安全な場所に車を止めてから操作をしてください。
さ	サーバが混み合っています。	インターナビ情報センターのサーバが混雑している。 ⇒ しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。
	サーバが停止しています。	インターナビ情報センターのサーバが停止している。 ⇒ しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。
	再生可能な曲がありません	SDカード／USBメモリーに再生可能な音楽ファイルがない。 ⇒ 再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。 ⇒ 再生可能な音楽ファイルが入ったUSBメモリーを接続してください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
さ	再生可能なディスクを入れてください	本機で再生できないディスクを入れている。 ⇒ 本機で再生できるディスクを入れてください。
		ディスクが逆に挿入されている。 ⇒ ディスクを正しく挿入してください。
		ディスクに汚れ／異常がある。 ⇒ ディスクの汚れを拭きとってください。 ⇒ 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まへのディスクに異常がある可能性があります。
		音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ⇒ 正しいディスクをセットしてください。
		VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。 ⇒ 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
	サーチ中は登録できません。(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を長押しして登録しようとした。 ⇒ サーチが完了して周波数が表示された後、上記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。
し	視聴制限により再生できません。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 ⇒ 再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴制限レベルをあわせてください。[P. E-13]
	しばらくお待ちください。	ディスクを読み込み中です。 ⇒ 正常な動作ですので、そのままお待ちください。
		ファイル数が多いSDカード／USBメモリーの場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。 ⇒ 正常な動作ですので、そのままお待ちください。
		メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。 ⇒ しばらく待ってからオーディオOFFにし、SDカード／USBメモリーを一旦抜いてから再度確実に差し込み、オーディオONにしてください。
	受信局が変化しました。情報を受信中です。(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。 ⇒ 表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にいるため、または放送エリア内にいるが電波状況が悪いため、受信できない可能性があります。
	受信できません。(0020)	地上デジタル／ワンセグ放送の受信レベルが低い。 ⇒ 受信できる場所に移動してください。
	受信できません。(E202)	地上デジタル／ワンセグ放送の電波を受信できていない。 ⇒ 受信できる場所に移動してください。
	受信できません。(E203)	地上デジタル放送／ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。 ⇒ 受信できる場所に移動してください。
		放送休止のチャンネルを見ている。 ⇒ 視聴できるチャンネルを選んでください。

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
し	使用できないSDカードが挿入されています	対応していないSDカードが挿入されている。 ⇒ 別のSDカードで試してください。
		SDカードを正しくフォーマットしていない。 ⇒ 本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。 [P] I-44
		本機がSDカードを正しく認識できない。 ⇒ SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。
	情報の受信中です。(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い) ⇒ 受信できるまでしばらくお待ちください。
	情報を受信していません。(FM多重)	受信エリア外に居る。 ⇒ 受信エリア外では、受信できません。
		受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。 ⇒ 場所を移動してみてください。
		放送局のサーチ中に「文字情報」／「図形情報」をタッチした。 ⇒ サーチが完了して周波数が表示された後、「文字情報」／「図形情報」をタッチしてください。
		VICS放送局でない放送局(周波数)を受信している。 ⇒ 全てのFM放送局が交通情報を放送しているわけではありません。交通情報を放送している放送局を受信してください。[P] I-4
せ	接続したUSB機器はご使用になれません。	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。 ⇒ 本機で対応しているUSBメモリーを使用してください。[P] K-28
そ	走行中は映りません。	走行中に映像(動画)を見ようとした。 ⇒ 安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させてから、操作してください。
た	ただいま接続できません。	リンクアップフリーの通信圏外に位置している。 ⇒ リンクアップフリーの通信圏内に移動して操作してください。
		リンクアップフリー専用通信機器が接続されていない。 ⇒ 専用通信機器を正しく接続してください。[P] H-6
ち	地図カードを挿入してください。	地図SDカードを正しく認識できていない。 ⇒ 地図SDカード挿入口カバーを取り外し、地図SDカードを入れ直して、再度カバーを取り付けてください。[P] A-8
て	ディスクを入れてください	ディスクが入っていない。 ⇒ 本機で再生できるディスクを入れてください。
と	登録できませんでした。	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 ⇒ 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。
		他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。 ⇒ ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源はお切りください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
に	入力されたパスワードが間違っています。	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。 ⇒ パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。
	認証に失敗しました。	カーナビ用パスワード(暗証番号)を間違えて入力している。 ⇒ 「登録完了のご案内」に記載されているカーナビ用パスワード(暗証番号)を確認して、再度入力してください。 会員ID(フレームNo.)が正しく設定されていない。 ⇒ 本機でフレームNo.を確認し、会員ID(車検証に記載の車台番号)と同じかどうか確認してください。  H-5 それでも接続できない場合は、Honda 販売店または Honda Total Care コールセンターへお問い合わせください。
は	パスキーが一致していません。再度登録操作を行ってください。	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 ⇒ 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。
ほ	放送局は登録されていません。(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。 ⇒ あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は動きません。  1-5
り	リージョンコードが違います。	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。 ⇒ 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。
ろ	録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。	本機の録音可能曲数は1万曲までです。 ⇒ すでに録音した曲を削除してから、再度、各操作をしてください。
	録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。	SDカードの容量が一杯になったため。 ⇒ すでに録音した曲を削除するなどSDカードの空き容量を増やしてから、再度、各操作をしてください。
	録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。	音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。 ⇒ 自動でデータベースの修復を行いますので、メッセージ表示が消えるまでそのままお待ちください。
よ	汚れ検出機能動作中 リアカメラdeあんしん プラスが使用できません。	リアカメラが汚れているため、後方死角サポート/車線キープサポート/後退庫サポート機能が使用できない。 ⇒ 水を含ませた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。

K

必要なとき

GPS 電波受信と現在地測位	K-2
現在地測位について	K-2
GPS電波受信について	K-3
ルート案内について	K-4
ルート案内中の音声案内例	K-4
ルート案内のご注意	K-5
有料道路の料金表示について	K-5
車両のメーター内マルチインフォメーション	
ディスプレイの交差点案内表示	K-5
ルート探索について	K-6
VICSについて	K-7
地図ソフトについて	K-10
市街地図の収録エリア	K-14
表示できる施設	K-18
文字入力画面について	K-20
文字を入力する	K-20
Gracenote データベースについて	K-22
ディスクについて	K-24
再生できるディスク	K-24
ディスクの取り扱いについて	K-25
SD カードについて	K-26
SD カードについて	K-26
SD カードの取り扱いについて	K-26

iPodについて	K-27
本機で接続確認済みの iPod	K-27
USB メモリーについて	K-28
対応可能な USB メモリー	K-28
BLUETOOTHについて	K-29
ハンズフリーについて	K-29
BLUETOOTH Audioについて	K-31
音楽ファイルについて	K-32
画像ファイルについて	K-34
動画ファイルについて	K-35
テレビ／ラジオの受信について	K-37
仕様	K-38
初期設定一覧	K-40
別売品(システムアップ)について	K-44
商標などについて	K-46
ソフトウェア、およびオープンソース	
ソフトウェアについて	K-48
保証とアフターサービス	K-50
さくいん	K-51

GPS 電波受信と現在地測位

現在地測位について

- 本機はGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地を測位しています。

また自律航法やマップマッチングを行って、測位誤差を補正しています。

※自律航法……………本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出す方法

※マップマッチング……現在地測位をして道路以外の場所を走行しているという結果が出た場合、測位に誤差が生じたと判断し、近くの道路に現在地補正すること

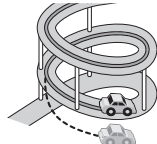
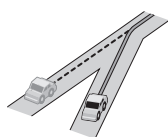
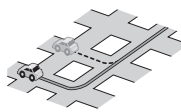
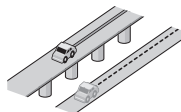
お知らせ

- GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。
- 自律航法は実際の走行を重ねてデータを蓄積することで算出精度の向上を図っています。そのため、初めてお使いのときや、蓄積データを初期化(センサー学習結果の初期化)をした直後は十分に現在地測位ができない場合があります。
- 測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習結果の初期化(図P-44)を行ってください。

- 本機表示の現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。

故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

- ・ 高速道路と一般道路が近くにある。
- ・ 碁盤目状の道路を走行している。
- ・ 角度の小さなY字路を走行している。
- ・ らせん状の道路などを走行している。



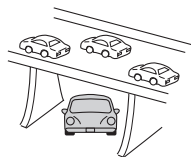
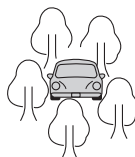
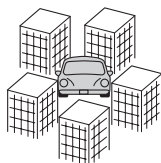
- ・ 地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき。
- ・ 本機の電源が切れている間にターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき。
- ・ 旋回、切り返しを繰り返したとき。
- ・ S字の連続する道路を走行しているとき。
- ・ 直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき。

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自転車マークの向きがずれることがあります。

GPS電波受信について

- 以下の場所ではGPS電波がさえぎられやすいため受信しにくくなります。

・ トンネルの中 ・ 高層ビルに囲まれたところ ・ 樹木の密集したところ ・ 高速道路の下など



車内でご使用の電子機器(レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETCなど)からの電波により、また一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信しにくくなる場合があります。

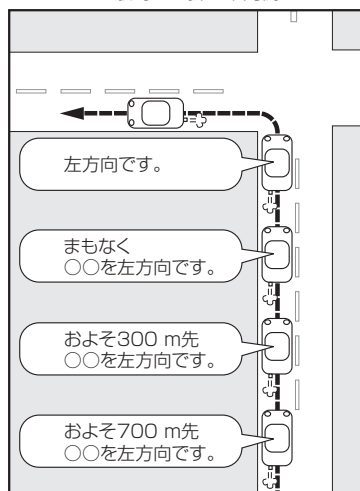
- GPS電波は通常、本機を起動してから数分で受信します。ただし、初めてお使いのときや車のバッテリーなど交換後、また長時間で使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受信周期により、データの取り込みに時間がかかるためです。)走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

ルート案内について

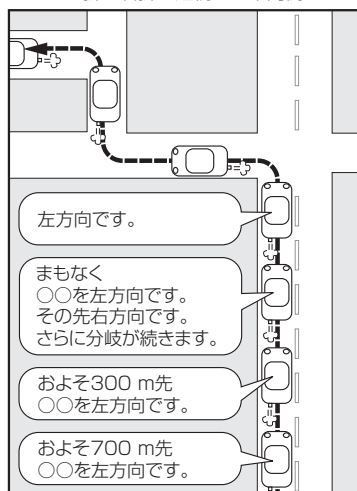
ルート案内中の音声案内例

交差点案内

一般的な左折の案内例

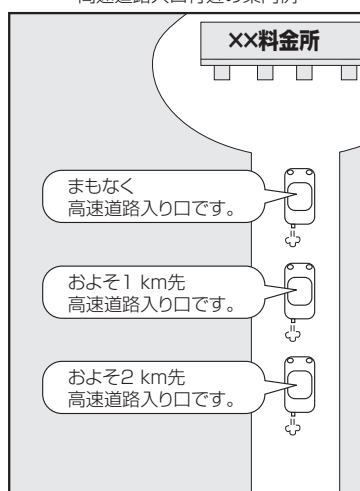


左折と右折が連続する案内例

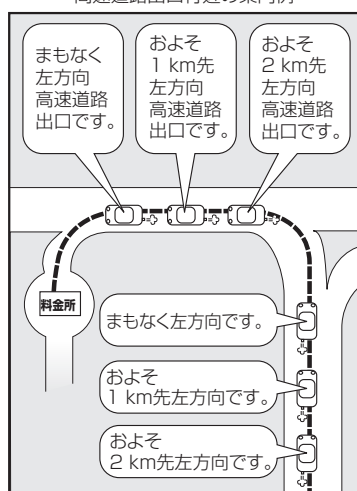


高速道路の出入口案内

高速道路入口付近の案内例



高速道路出口付近の案内例



お知らせ

- 音声案内の音量を調整する場合は **D-11**
- 音声案内を再度聞きたいときは **現在地** を押してください。
※タイミングによっては直前の音声案内ではなく次の分岐点の案内になる場合があります。

ルート案内のご注意

- 道路は日々変化しているため、地図ソフト作成時期により、交通規制やルートなどの案内が実際の道路と合致しない場合があります。
- 音声案内は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった案内内容になったり、音声案内しない場合があります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくとき“まもなく経由地 1 付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 一部の有料道路で料金表示できない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「――円」と表示される場合があります。(ルートの出発地/目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は「――円」となります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路/有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「――円」または実際の料金と異なる場合があります。このような場合は、実際の料金に従ってお支払いください。

車両のメーター内マルチインフォメーションディスプレイの交差点案内表示

ルート案内中、交差点の曲がる方向や交差点までの距離などをメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。
※車両の装備やグレードが交差点案内表示に対応している必要があります。

お知らせ

- 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

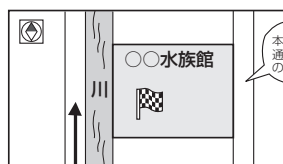


必要とき

ルート探索について

- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上りと下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路が案内ルートの起点／中継点／終点になります。そのため以下例のようなケースに注意して目的地を設定してください。

例)「施設の名称から目的地を探す」で“〇〇水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合（駐車場情報が無い場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合）



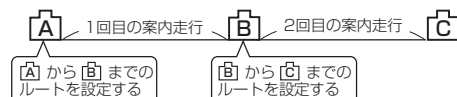
目的地マークに一番近い道路は川を挟んで左にある道路であるため、この道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。



詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

- ・ 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- ・ 極度に迂回したルートしかない場合。
- ・ 現在地と目的地が遠すぎる場合。（この場合はルートを複数に分けて探索してください。）



出発地Aから目的地Cの探索ができなかった場合は、途中のB地点で区切って探索してください。

- ・ その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになります。
- ・ どれか1区間でもルートが探索できなかったときは、ルート探索ができません。
- ・ 経由地付近でルートがつかないことがあります。
- ・ 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- ルート探索中に車のエンジンスイッチをOFFに入れると、ルート探索を中止します。このあとに車のエンジンスイッチをアクセサリ、またはONに入れると前回探索途中のルートは消去されています。

VICSについて

VICSに関する問い合わせ先について

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

電話番号	0570-00-8831 ※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。 ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
電話受付時間	平日 9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX 番号	(03)3562-1719
FAX 受付時間	24 時間
URL	https://www.vics.or.jp/

* お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

VICS 削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまらぬ、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

VICSについて

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上の VICS サービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM 放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

- 第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

- 第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

- 第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

- 第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工世上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

- 第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
- (免責)
- 第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器 1 台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後 90 日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)



指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



禁止

運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平29情使、第444-B179号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平29情使、第1274-001号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認 12-0040)
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。

必要とき

地図ソフトについて

- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2018年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2018年10月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆3D交差点……………ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
 - ◆ジャンクションビュー……………ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
 - ◆方面看板……………ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
(全国の主要交差点を表示)
- ※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2018年7月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- この地図データは、以下の著作物を改変して利用しています。
「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」、東京都・【その他の著作権者】、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示4.0国際(<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を(株)ゼンリンおよびMAPMASTERが加工して作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2018年11月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 個人宅電話番号検索は、「電話番号」の入力で、全国で地図検索が可能ですが、各地域において、情報を収録している割合に格差があります。また、お客様が電話番号や名字を用いて対象となる物件の位置を検索した場合、該当する物件の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【登録商標について】

- “ゼンリン” および “ZENRIN” は(株)ゼンリンの登録商標です。
-  **vics** は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。

VICS に関するお問い合わせ

VICSセンター お客様相談窓口

【電話番号】 0570-00-8831 (PHS、IP電話等からはご利用できません)

【受付時間】 平日 9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

【FAX番号】 03-3562-1719(24時間受付)

【URL】 <https://www.vics.or.jp/>

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2018年12月(高速・有料道路)／2018年10月(国道・都道府県道)

■交通規制^{※1}：2018年11月

■住所検索：2018年11月

■電話番号検索：2018年11月

■個人宅電話番号検索：2018年8月

■郵便番号検索：2018年11月

■ジャンル検索：2018年10月

■高速・有料道路料金^{※2}：2018年12月

■市街地図：2018年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

2019年11月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2019 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 9:30～17:30 月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

市街地図の収録エリア

90 % 以上収録地域 → 無印、50 % 以上収録地域 → 、50 % 未満収録地域 →

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町	茨城県	水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町
	青森県		宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢市、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ケ崎町、平泉町	群馬県	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷市、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町	埼玉県	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町		
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町		
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町		

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、陸沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町

福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市
愛知県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市

市街地図の収録エリア

90 % 以上収録地域 → 無印、50 % 以上収録地域 → 、50 % 未満収録地域 →

三重県	津市、 松阪市 、 いなべ市 、東員町、 菟野町 、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、 尾鷲市 、 亀山市 、鳥羽市、 熊野市 、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、 多気町 、 明和町 、 南伊勢町 、 紀北町 、 御浜町 、 紀宝町	和歌山市、海南市、岩出市、 かつらぎ町 、 湯浅町 、橋本市、有田市、御坊市、 田辺市 、 新宮市 、 白浜町 、 那智勝浦町 、 紀の川市 、 有田川町 、 高野町 、 紀美野町 、 九度山町 、 広川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 上富田町 、 太地町 、 串本町
滋賀県	近江八幡市 、草津市、 大津市 、 彦根市 、 長浜市 、守山市、栗東市、 野洲市 、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、 米原市 、 高島市 、東近江市、 愛荘町 、 豊郷町 、 甲良町 、 多賀町	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、 岩美町 、三朝町、日吉津村、 八頭町 、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 伯耆町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、 福知山市 、 舞鶴市 、 綾部市 、宇治市、 宮津市 、 亀岡市 、 長岡京市 、 宇治田原町 、 笠置町 、 和束町 、 南山城村 、 京丹後市 、 南丹市 、 大山崎町 、 伊根町 、 与謝野町	松江市、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、 安来市 、 江津市 、 雲南市
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、 津山市 、笠岡市、井原市、総社市、 高梁市 、 新見市 、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、 福崎町 、太子町、 上郡町 、神戸市、 姫路市 、洲本市、相生市、 豊岡市 、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、 篠山市 、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、 養父市 、 丹波市 、 宍粟市 、朝来市、たつの市、 多可町 、 香美町 、 新温泉町 、加東市、 市川町 、 神河町	呉市 、尾道市、福山市、 府中市 、府中町、坂町、江田島市、 広島市 、竹原市、三原市、 三次市 、 庄原市 、 大竹市 、 東広島市 、 廿日市市 、 海田町 、 熊野町 、 安芸高田市
奈良県	奈良市、橿原市、 桜井市 、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、 宇陀市 、三宅町、 高取町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村	下関市 、宇部市、 山口市 、 萩市 、防府市、下松市、 岩国市 、 山陽小野田市 、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祢市 、周南市、和木町、平生町、 周防大島町 、 田布施町
		徳島市、鳴門市、小松島市、 阿南市 、 吉野川市 、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、 阿波市 、 美馬市 、 三好市 、 つるぎ町 、 東みよし町
		高松市 、 丸亀市 、坂出市、善通寺市、 観音寺市 、さぬき市、東かがわ市、土庄町、 綾川町 、宇多津町、 まんのう町 、琴平町、 多度津町 、 三豊市 、 小豆島町 、 三木町
		松山市 、 今治市 、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、 西条市 、 大洲市 、伊予市、 四国中央市 、 松前町 、 砥部町 、 伊方町 、 久万高原町 、 西予市 、 東温市 、 内子町
		高知市 、 室戸市 、 安芸市 、 南国市 、 土佐市 、 須崎市 、 宿毛市 、 土佐清水市 、 佐川町 、 焼原町 、 四万十市 、 香南市 、 香美市 、 四万十町 、 黒潮町 、 いの町 、 越知町

福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、 <u>飯塚市</u> 、田川市、柳川市、 <u>八女市</u> 、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、那珂川市、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、 <u>うきは市</u> 、大刀洗町、刈田町、吉富町、福津市、宮若市、 <u>嘉麻市</u> 、朝倉市、鞍手町、大木町、 <u>築上町</u> 、みやま市、小竹町、 <u>桂川町</u> 、 <u>筑前町</u> 、 <u>広川町</u> 、 <u>香春町</u> 、 <u>添田町</u> 、糸田町、 <u>川崎町</u> 、大任町、赤村、福智町、 <u>みやこ町</u>
佐賀県	<u>佐賀市</u> 、 <u>唐津市</u> 、鳥栖市、多久市、伊万里市、 <u>武雄市</u> 、 <u>鹿島市</u> 、小城市、 <u>白石町</u> 、 <u>嬉野市</u> 、 <u>神埼市</u> 、 <u>吉野ヶ里町</u> 、基山町、 <u>上峰町</u> 、 <u>みやき町</u>
長崎県	<u>佐世保市</u> 、時津町、 <u>長崎市</u> 、島原市、諫早市、 <u>大村市</u> 、平戸市、 <u>松浦市</u> 、 <u>五島市</u> 、波佐見町、 <u>対馬市</u> 、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、 <u>東彼杵町</u> 、 <u>川棚町</u> 、 <u>佐々町</u>
熊本県	熊本市*、玉名市、八代市、 <u>人吉市</u> 、荒尾市、水俣市、 <u>山鹿市</u> 、 <u>菊池市</u> 、宇土市、 <u>大津町</u> 、 <u>菊陽町</u> 、合志市、 <u>益城町</u> 、 <u>阿蘇市</u> 、 <u>南小国町</u> 、 <u>小国町</u> 、 <u>上天草市</u> 、 <u>宇城市</u> 、 <u>高森町</u> 、 <u>天草市</u> 、 <u>玉東町</u> 、 <u>長洲町</u> 、御船町、 <u>嘉島町</u> 、 <u>甲佐町</u> 、 <u>氷川町</u> 、 <u>芦北町</u> 、 <u>津奈木町</u> *印…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。
大分県	<u>大分市</u> 、別府市、 <u>中津市</u> 、 <u>日田市</u> 、 <u>佐伯市</u> 、 <u>臼杵市</u> 、 <u>津久見市</u> 、 <u>竹田市</u> 、 <u>豊後高田市</u> 、 <u>杵築市</u> 、 <u>宇佐市</u> 、 <u>豊後大野市</u> 、 <u>由布市</u> 、 <u>九重町</u> 、 <u>玖珠町</u> 、 <u>国東市</u> 、 <u>日出町</u>
宮崎県	<u>宮崎市</u> 、 <u>都城市</u> 、 <u>延岡市</u> 、 <u>日南市</u> 、 <u>小林市</u> 、 <u>日向市</u> 、 <u>串間市</u> 、 <u>西都市</u> 、 <u>えびの市</u> 、 <u>三股町</u> 、 <u>高原町</u> 、 <u>国富町</u> 、 <u>高鍋町</u> 、 <u>新富町</u> 、 <u>木城町</u> 、 <u>川南町</u> 、 <u>都農町</u> 、 <u>門川町</u>
鹿児島県	<u>鹿児島市</u> 、 <u>鹿屋市</u> 、 <u>姶良市</u> 、 <u>枕崎市</u> 、 <u>いちき串木野市</u> 、 <u>阿久根市</u> 、 <u>出水市</u> 、 <u>伊佐市</u> 、 <u>指宿市</u> 、 <u>西之表市</u> 、 <u>垂水市</u> 、 <u>薩摩川内市</u> 、 <u>日置市</u> 、 <u>曾於市</u> 、 <u>霧島市</u> 、 <u>南さつま市</u> 、 <u>志布志市</u> 、 <u>奄美市</u> 、 <u>南九州市</u> 、 <u>さつま町</u>

沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、 <u>読谷村</u> 、 <u>嘉手納町</u> 、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、 <u>石垣市</u> 、うるま市、 <u>宮古島市</u> 、南城市、八重瀬町
-----	--

お知らせ

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2018年7月です。

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア	観る(続き)	映画館	買う(続き)	インテリア用品店
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド		城・城跡		メガネ・
駐車場	駐車場		史跡		コンタクトレンズ
交通機関	駅		名所・観光地等		釣具店
	高速・都市高速・ 有料道路施設		イベント		アウトドア用品店
	道の駅	泊まる	ビューポイント		CDレコード店
	フェリーターミナル		住宅展示場		中古CDレコード店
	港		ホテル		レンタルビデオ・CD
	空港		ビジネスホテル		化粧品・装飾品・ 民芸品
	タクシー		旅館		オーディオ・パソコン・ OA
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)		ペンション	食べる	金物店・刃物店
	レジャー公園・牧場		公共の宿		ガラス・陶磁器
	その他レジャー施設		ファッションホテル		その他小売店
	海洋・海浜公園		カプセルホテル		ファミリーレストラン
	サファリパーク		家族旅行村		ファストフード
	海水浴場	買う	国民休暇村		ラーメン
	川くんだり		民宿		うどん・そば
	果物狩り		その他宿泊施設		日本料理
	遊覧船		カー用品		中華
	遊覧飛行機		ホームセンター		イタリア料理
	リフト・ロープウェイ		ディスカウント		寿司屋
	釣り		スーパー		回転寿司
	キャンプ場		デパート		フランス料理
	公営ギャンブル		複合大型商業施設		カレーハウス
	パチンコ		アウトレットモール		焼肉・ホルモン
	麻雀		家電		韓国料理
	ゲームセンター		本		お好み焼き
	ビリヤード		ファッション		とんかつ
	ボウリング場		衣服・呉服・小物		持ち帰り弁当
	カラオケボックス		シューズ		喫茶
	マンガ喫茶		バッグ・コート・毛皮		酒場
	インターネットカフェ		その他繊維製品		うなぎ料理店
	アニメ・ゲームグッズ		スポーツ		おでん屋
	プラネタリウム		雑貨		海鮮料理店
	クラブ・ライブハウス		ドラッグストア		懐石料理
	マリナー		100円ショップ		割烹・料亭
	待ち合わせ場所		その他日用品・雑貨・ 文具		スパゲティ専門店
	趣味・娯楽・教養		チケット売買・ プレイガイド		ステーキハウス
観る	動物園		携帯電話ショップ		てんぷら料理店
	植物園		リサイクルショップ		鳥料理店
	水族館		おもちゃ屋		ピザハウス
	美術館		子供用品・服		アイスクリーム
	博物館		酒屋		その他和風飲食店
	資料館		食材		その他洋風・ 中華飲食店
	文化施設		パン・お菓子	生活施設	郵便
	ホール会館		花屋		理容・美容
	劇場		園芸店		クリーニング
			家具店		

ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類
生活施設 (続き)	温泉	スポーツ 施設	ゴルフ	カー ディーラー (続き)	メルセデス・ベンツ
	銭湯		スキー・スケート		ヤナセ
	サウナ・健康センター		マリンスポーツ		ランドローバー
	クアハウス・スパ		野球場		ランボルギーニ
	教養施設・福祉施設		競技場		ルノー
	写真・写真館		プール		ロータス
	組合		モータースポーツ		ロールスロイス
	人材紹介・ 代行サービス		自転車		いすゞ
	録音スタジオ		テニスコート		日野
	クレジット・質屋・ 買取		体育館		三菱ふそう
	宅配便・運輸		武道館		UDトラックス
	リース・レンタル・ 修理		スポーツクラブ		その他カーディーラー
			バッティングセンター	自動車関連	自動車整備工場
			公営スポーツ施設		中古車販売
			その他スポーツ施設		レッカーサービス
トイレ	トイレ	神社・仏閣・ 教会・巡礼	神社		ロードサービス
銀行	都市銀行		仏閣・寺		レンタカー
	地方銀行		教会		オートバイ販売・部品・ 用品
	その他銀行		全国著名巡礼名所		レンタルバイク
公共施設	役所	Honda Cars店	Honda Cars店		その他自動車・自転車
	警察署・交番	カー ディーラー	Honda Cars店	エコステ- ション	エコステーション
	消防署		スズキ		大使館・領事館
	図書館		スバル	その他 ジャンル	マスメディア
	裁判所		ダイハツ		旅行・観光業
	税務署		トヨタ		ペット
	年金事務所		トヨタ部品		製造・卸売業
	保健所		日産		農園・果樹園
	法務局		日産部品		
	運転免許試験場		マツダ		
	ハローワーク		三菱		
学校・ 教育施設	大学		レクサス		
	高校		アウディ		
	中学校		アルファロメオ		
	小学校		クライスラー		
	短大		シトロエン		
	高専		ジャガー		
	中等教育学校		GM		
	幼稚園		GMDAT		
	保育園		BMW		
	特別支援学校		フィアット		
	自動車学校		フェラーリ		
	各種専門学校		フォルクスワーゲン		
	予備校		ブジョー		
	その他学校・教育施設		ベントレー		
病院	病院		ボルシェ		
			ボルボ		
冠婚葬祭	冠婚葬祭場		マクラーレン		
	結婚式場		マセラティ		
	霊園・墓地		MINI		
	造花・装飾・花環				
	火葬場				

文字入力画面について

文字を入力する

※画面によって入力できる文字種類・漢字変換・半角切換が制限されます。

※画面によって表示されないボタンがあります。

1 文字ボタンをタッチする。



文字を削除する

- ① **←** / **→** をタッチして、カーソルを削除したい文字のすぐ右に移動させる。
- ② **修正** をタッチする。

カーソルを移動します。

小文字／濁点文字／半濁点文字を入力する

文字を入力して **小** をタッチする。

例)「ぎゃ」と入力するには、**ぎ** → **小** → **や**
→ **小** の順にタッチする。

文字の種類を選ぶ

カナ をタッチする。

※タッチするたびに、**カナ** → **英数** → **記号** → **かな** と切り換わります。



文字ボタンを切り換えます。

半角文字を入力する

- ① **半角** をタッチする。
 - ② 文字ボタンをタッチする。
- ※全角に戻すには **全角** をタッチしてください。

スペースを入力します。

2 無変換 をタッチする。

※画面によっては **無変換** のタッチが不要な場合があります。

※ **変換** をタッチすると漢字に変換できます。[P K-2]

3 文字の入力が終わったら、決定／検索 をタッチする。

漢字に変換する場合

- ① ひらがなを入力して **変換** をタッチする。
- ② 候補リストからどれに変換したいか選んでタッチする。



入力予測機能について

名称検索画面、ジャンル名入力画面、地名部分入力画面では、入力予測機能が働きます。文字入力を始めると、過去の入力履歴から予測して入力候補を表示します。



入力候補リストを表示します。
(入力候補の文が長く、続きを見たい場合はタッチしてください。)

入力候補

※タッチして選択できます。

(例えば“な”を入力すると、過去に入力した中から予測して、“な”から始まる文字列を表示します。)

お知らせ

入力履歴は初期化することができます。☎ I-44

入力切換について

文字入力画面で **入力切換** をタッチすると、以下の文字ボタンに切り換えることができます。



- 携帯電話の文字入力のように、入力したい文字の行のボタンをタッチして文字入力します。(例：“え”を入力するには **え** を4回タッチします。)
- 同じ行の文字を続けて入力する場合は、**確定** をタッチしてから次の文字を入力してください。

もとの文字ボタンに切り換えます。

スペースを入力します。

必要とき

Gracenote データベースについて

CDをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote[®]社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote[®]社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote, CDDb, MusicID, Media VOCS, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote” ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。



お知らせ

「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● Gracenote データベースのご利用について

Gracenote[®] エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracernoteデータ、Gracernoteソフトウェア、およびGracernoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracernoteデータ、Gracernoteソフトウェア、およびGracernoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracernoteは、Gracernoteデータ、Gracernoteソフトウェア、およびGracernoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracernoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracernote, Inc. が本契約上の権利をGracernoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracernoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracernoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracernoteのサービスに関するGracernote [プライバシーポリシー](#)を参照してください。

GracernoteソフトウェアとGracernoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracernoteは、Gracernoteサーバーにおける全てのGracernoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracernoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracernoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracernoteソフトウェアまたはGracernoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracernoteソフトウェアまたはGracernoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracernoteは、将来Gracernoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracernoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracernoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracernoteは、お客様によるGracernoteソフトウェアまたは任意のGracernoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracernoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracernote

ディスクについて

再生できるディスク

CD

ディスクの種類	市販の音楽CD、CD-R、CD-RW
フォーマット	CD-DA、MP3、WMA

- コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)には対応しておりません。
- CD-R / CD-RWは、拡張フォーマットを除いたISO9660 レベル1 / レベル2で書き込まれたディスクに対応しています。
- マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once” で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。
- MP3 / WMA ファイルについては、「音楽データの規格について」[P. K-32](#)もお読みください。

DVD

ディスクの種類	市販のDVD、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
フォーマット	DVD-Video、DVD-VR(CPRMも再生可能)

- リージョン番号「2」ではないディスクやNTSC方式以外(PAL、SECAM)で収録されたディスクは再生できない場合があります。
- DVD-RおよびDVD-R DLに記録する場合、ファイナライズ処理が必要です。DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

■ 8 cmディスクについて

本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■ 次のような場合は再生できないことがあります。

- ・ ディスクの記録状態 / ディスク自体の状態が悪い場合
- ・ データ書き込みに失敗し再度録音した場合
- ・ 記録に使用したレコーダ / ディスクと本機の相性が悪い場合
- ・ 無許諾のディスク(海賊版のディスク)

■ 下記のディスクには対応していません。(再生できても正常に再生されないことがあります。)

- | | | | |
|-----------------------|------------|-------------|-----------|
| ● CD-G | ● フォトCD | ● CD-ROM | ● Blu-ray |
| ● CD-EXTRA | ● VIDEO CD | ● SACD | ● HD DVD |
| ● DVD-ROM | ● DVD-RAM | ● DVD オーディオ | ● SVCD |
| ● DVD+R / +RW / +R DL | など | | |

■下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、
のりが付着している



プリンターで作成した
ラベル



プロテクトフィルム、
保護シート



ディスクアクセサリ
(スタビライザーなど)

破損・変形したディスク



そっている



ひびやキズがある・
欠けている

透明なディスク



全体が透明



一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形



カード型



三角形



バリがある

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズがついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。



- 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



記録面

内側から外側へ拭く

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

SD カードについて

SD カードについて

- 本書ではSD規格に準拠したメモリーカードをSDカードと記載しています。
ただし、
 - ・ microSDカードと記載している場合は、microSDXCメモリーカード／microSDHCメモリーカード／microSDメモリーカードを指します。
 - ・ miniSDカードと記載している場合は、miniSDメモリーカードを指します。
- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- 本機は下記のSDカードに対応しています。

使用できるSDカードの種類(下記以外のSDカードは使用できません。)	
・ SDメモリーカード(2 GBまで) ・ SDHCメモリーカード(2 GB超～32 GBまで) ・ SDXCメモリーカード(32 GB超～2 TBまで、512 GB以下を推奨)	※ SDロゴ、SDHC、SDXCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用可 ※ セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。また、取り出すときは必ずアダプターごと取り出してください。
ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの初期化は本機で行ってください。
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中(再生中／初期化中など)にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。
- 無線LAN内蔵のSDカードは対応していません。
- 本機はUHS規格の転送速度には対応しておりません。

SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気が多い場所や腐食性のものがある場所など)でのご使用や保存はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

iPod について

- 本書では特にことわりのない限り、iPod／iPhoneを「iPod」と表記しています。
- 本機に接続すると、起動中はiPodへ充電を行います。
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。
- iPodソースのときに、iPodの接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。（正しく動作しない場合があります。）
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを本機から外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で本機の電源を切ると数分後にiPod本体の電源もOFFされます。（ただし、この動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。）
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電池を消耗することがあります。

本機で接続確認済みのiPod

2019年6月現在

iPod／iPhoneモデル名	ソフトウェアバージョン(iOS)
iPhone XS Max	12.3.1
iPhone XS	12.3.1
iPhone XR	12.3.1
iPhone X	12.3.1
iPhone 8	12.3.1
iPhone 8 Plus	12.3.1
iPhone 7	12.3.1
iPhone 7 Plus	12.3.1
iPod touch(第7世代)	12.3.1

※上表はiPodソースでの音楽再生に関するものです。他のソース、他の機能での使用可否を記載しているものではありません。

お知らせ

- iPod／iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをApple社のホームページよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- iPod／iPhoneの再生アプリケーションによっては一部機能の制限があったり、再生できない場合があります。

USB メモリーについて

- USB メモリーに記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB メモリーは再生中に本機から外さないでください。
- USB メモリーは市販のUSBハブまたはUSB延長ケーブルを介して接続しないでください。

対応可能なUSBメモリー

- 本機では下記条件を満たしたUSBメモリーを使用できます。
 - ・ USB マスストレージ規格準拠
 - ・ 容量：32 GB 以下
 - ・ ファイルシステム：FAT16、FAT32
 - ・ USB コミュニケーションフォーマット：USB2.0
 - ・ パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
 - ・ USB メモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- 使用するUSBメモリーがUSBマスストレージ規格に準拠しているかは、USBメモリーのメーカーにお問い合わせください。
- 下記のUSBメモリーには対応していません。
 - ・ パーティションが複数あるもの
 - ・ 電流が500 mAを超えるもの
 - ・ パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
 - ・ セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
 - ・ パソコンなど、他のUSB機器へ電源供給が可能なもの
- 本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0のものを接続した場合、USB2.0で動作します。

BLUETOOTHについて

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全てのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応機器はBluetooth SIG, Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
 - 3 その他、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解や改造をする ・ ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。

ハンズフリーについて

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り換わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時 ・ 高速走行時 ・ 窓を開けているとき ・ エアコンのファンの音が大いとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。

必要
な
と
き

BLUETOOTHについて

- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・ 通話エリア外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーはマイクを使用して通話します。
安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意にならないようにしてください。)
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声は消音(ミュート)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。

お知らせ

携帯電話にはご利用にならない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

BLUETOOTH Audioについて

- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作は控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのよう聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH対応機器の音楽再生アプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

音楽ファイルについて

●音楽データの規格について

注)CD=CD-R／CD-RW、SD=SDカード、USB=USBメモリー

	MP3	WMA	AAC	FLAC	WAV
再生可能メディア	CD、SD、USB		SD、USB		
データの規格、バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version7、9 ※ Standardのみ	AAC Low Complexity	—	RIFF
ファイル拡張子	mp3、MP3	wma、WMA	m4a、M4A	flac、FLAC、fla、FLA	wav、WAV
サンプリング周波数	16 kHz／ 22.05 kHz／ 24 kHz／32 kHz／ 44.1 kHz／48 kHz	32 kHz／ 44.1 kHz／48 kHz	16 kHz／ 22.05 kHz／ 24 kHz／32 kHz／ 44.1 kHz／48 kHz	16 kHz／22.05 kHz／ 24 kHz／32 kHz／44.1 kHz／48 kHz／ 88.2 kHz／96 kHz／176.4 kHz／ 192 kHz	
ビットレート	8 kbps～ 320 kbps、VBR	48 kbps～ 320 kbps、VBR	8 kbps～ 320 kbps	—	
量子化ビット数	—			16bit、24bit	
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	CD：全角32文字／半角32文字 SD、USB：全角32文字／半角64文字 ※ フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。				
フォルダ名／ファイル名の使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)				
最大フォルダ階層	8階層				
1フォルダ内の最大ファイル数	255 ※ファイル数＋フォルダ数の合計が255以下であること				
1メディア内の最大ファイル数	CD：512 SD、USB：10 000				
1メディア内の最大フォルダ数	CD：255 SD、USB：400				
表示可能なタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名				タグ表示に非対応
タグ表示可能文字数	[ID3タグ Ver1.0／1.1] 全角15／半角30文字 [ID3タグ Ver2.2／2.3] CD： 全角30／半角60文字 SD、USB： 全角32／半角64文字	CD： 全角30／ 半角30文字 SD、USB： 全角32／ 半角64文字	全角32／半角64文字		タグ表示に非対応
ジャケット写真のファイル規格	CD：ジャケット写真に非対応 SD、USB：JPEG形式				ジャケット写真に非対応

※m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスは非対応です。

※WMA Professional／WMA Lossless／WMA Voiceは非対応です。

※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。

※2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。

※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

※WAVファイルはLPCM(整数型)に対応しています。AIFFフォーマット／WAVE64フォーマット／RF64フォーマット／ADPCMフォーマット等には対応していません。

※FLACファイルは1024から4608のブロックサイズに対応しています。

※サンプリング周波数が48 kHzを超える音楽ファイルは、48 kHzにダウンコンバートして再生します。

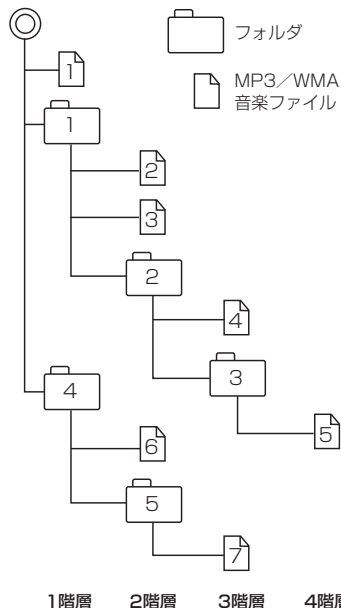
お知らせ

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと(例えばWMAのファイルに“MP3”の拡張子)大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- ファイルのチェックを早く終わらせるために本機で再生可能な音楽ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。
- CDで同じ階層に複数のMP3／WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

ジャケット写真について

- 音楽ファイルに登録されているジャケット写真の画像のサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176 × 176 ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真の画像が登録されている場合、正常に表示できない場合があります。

● 階層と再生順序について



[以下はCDのMP3／WMAのみ]

- ・ ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- ・ 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ・ ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- ・ 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- ・ 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- ・ 通常は、**1** → **2** → **3** → **4** → **5** → **6** → **7** の順に再生します。
- ・ 同じ階層に複数のMP3／WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ・ 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

必要とき

画像ファイルについて

●再生可能な画像ファイルについて

再生可能メディア	SDカード、USBメモリー
対応形式	Baseline JPEG方式
ファイル拡張子	JPG／jpg
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	全角32文字／半角64文字 ※フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10 000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名の使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4 092×4 092ピクセル

※ Progressive JPEG、カラーフォーマットが Gray scale、RGB、CMYK の JPEG ファイルは対応していません。

※ 大きい画像は画面に合わせて表示されます。

※ 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイルについて

●再生可能な動画ファイルについて

再生可能メディア	SDカード、USBメモリー
ファイル拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	全角32文字／半角64文字 ※フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10 000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名の使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	2 GB以下

映像	コーデック、プロファイル	MPEG4 (Advanced Simple Profile(レベル5まで)、Simple Profile(レベル6まで)) H.264 (Main Profile(レベル3.1まで)、High Profile(レベル3.1まで)、Baseline Profile(レベル3.1まで))
	ビットレート	216 kbps～8 Mbps
	フレームレート	最大30 fps
	最大解像度	1 280×720
音声	コーデック	AAC Low Complexity
	ビットレート	8 kbps～320 kbps
	サンプリング周波数	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

※著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

※ビットレートが低いと十分な画質・音質を得られない場合があります。

※可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※Windows Media Videoには対応していません。

※Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。

※AAC-Plusには対応しておりません。

※上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなったり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書をご覧ください。

※動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなったり、音声、映像が乱れたりする場合があります。

動画ファイルについて

●動画ファイルの再生について

- ・極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかったりすることがあります。
- ・極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかったりすることがあります。
- ・同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- ・チャンネル数が2を超える音声を含む動画ファイルは再生できません。
- ・映像が含まれない動画ファイルは再生できません。
- ・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け(例：001～100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- ・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4／M4V／mp4／m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
- ・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- ・SDカード／USBメモリーの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因になる場合があります。

●著作権について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

テレビ／ラジオの受信について

- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。
- 放送方式(12セグ／ワンセグなど)や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面や黒画面となり音声が出なくなったりすることがあります。
- ラジオやテレビの受信は受信環境によって、電波の強さの変化、障害物や他電波などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - ・トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかったりすると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・車の走行速度によっては受信状態が悪くなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - ・一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
 - ・本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
 - ・ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	9 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ/ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPS アンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1 575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル32チャンネル
受信感度	-145 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S/N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～99.0 MHz AM 522～1 629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μ V) AM 37 dB(μ V)
S/N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

DVD部

対応ディスク	DVDビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
S/N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
AUXコード接続端子	8ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	3ピン専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロントカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子	GT13専用コネクター
LUF入力端子	4ピン専用コネクター
ETC2.0車載器接続端子	4ピン専用コネクター
ドライブレコーダー接続端子	12ピン専用コネクター
車両通信接続端子	20ピン専用コネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
消費電流	約3.5 A(CD再生出力 1 W時)
最大出力	50 W × 4 ch(16.0 V)
外形寸法	248.8 × 157.5 × 181.8 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量 (本体のみ)	3.05 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

初期設定一覽

各種設定初期状態は下記の通りです。

●ナビゲーション

画面表示	
メイン画面	北方向が上 縮尺＝100 m
右画面	北方向が上 縮尺＝400 m
メニューカスタマイズ設定	6個表示

QUICKメニュー
周辺施設、右画面表示、道路切換、ランドマーク表示／非表示、全ルート表示、案内スタート／ストップ、再探索

情報
ドライブレコーダー
設定 ドライブレコーダーDRH-189Nを接続時 画質＝高画質 ブザー音＝2 手動録画の自動停止＝1分 駐車時録画＝する 駐車時録画プラス＝する 感度設定(常時録画／駐車時録画)＝0.5 感度設定(駐車時録画プラス)＝0.3 ドライブレコーダーDRH-204VDを接続時 画質＝標準 ブザー音＝2 音声録音＝する 駐車時録画＝する 駐車時録画プラス＝する 感度設定(常時録画)＝4 感度設定(駐車時録画プラス)＝4
VICS
周波数設定 自動選局＝ON プリセット選局＝未設定

記念距離メモリー表示
設定
記念距離メモリー＝する 間もなくお知らせ＝する

ナビ設定
表示
メイン画面用地図設定 地図モード＝北向き 3D 視角調整＝10目盛中左から1目盛目 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する
右画面用地図設定 右画面に地図表示＝しない 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D 視角調整＝10目盛中左から1目盛目
地図色設定 昼夜切換＝スモール連動 標高地図色＝季節連動
情報バー表示設定 マップコードを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 Audio 情報を表示＝しない
その他設定 緯度・経度を表示＝しない 登録地を表示＝する 時計表示＝する 右画面AVを表示＝しない ランドマーク＝カーディーラー (Honda Cars店、オートテラス) ランドマーク表示＝する 走行軌跡 軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし
案内
案内表示項目設定 ルートの全表示＝する 交差点情報を表示＝常時 ETCレーンを表示＝する JCTビューを表示＝する ルート情報を表示＝しない ハイウェイモードを表示＝する 交差点拡大図を表示＝する リアル3D表示＝する 方面看板を表示＝常時 目的地方向を表示＝する 高速道路逆走防止案内＝する Audio 画面中の案内割込み＝する 右画面AV中の案内割込み＝する EWS(緊急情報)の割込み＝する

ナビ設定
案内
案内音声項目設定 案内出力スピーカー＝右前 専用レーン案内＝する VICS案内＝する トンネル出口案内＝する
探索
探索条件＝internaviルート 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 時間規制道路を考慮＝する VICS自動再探索＝する 到着予想＝自動 手動を選択時 一般道＝30 km/h 国道＝40 km/h 有料道路＝80 km/h
ナビ案内音量
案内音量＝11目盛中左から5目盛目 消音＝OFF 詳細設定 案内音量の車速連動＝する
渋滞情報
VICS表示設定 一般道＝ON 有料道＝ON 規制＝ON 点滅＝ON 駐車場＝OFF 渋滞無し＝OFF 渋滞混雑＝ON
ETC2.0設定 ETC2.0受信音＝する ETC2.0割込み＝する ETC2.0音声自動再生＝する ETC2.0アップリンク＝する

システム設定
BLUETOOTH
着信音量＝＋7 受話音量＝＋7 送話音量＝＋7 ノイズキャンセル＝ON デバイス名＝Gathers ハンズフリーパスキー＝1212 BLUETOOTH Audioパスキー＝0000
オプションボタン
フロントカメラ接続時 フロントカメラ切換 上記カメラ未接続時 自宅
ETC設定
カード挿入アイコン表示＝する 本体ブザー音＝する 音声案内＝する カード入れ忘れ警告＝する カード有効期限案内＝する 表示割込み時間＝5秒
フロントカメラ設定
自動表示モード＝登録地点連動 インジケータ表示＝する
リアカメラ設定
リアカメラ設定次回表示ビュー＝前回表示ビューと同じ 後方死角サポート＝する 車線キープサポート＝する 後退出庫サポート＝する 後退駐車サポート＝する 運転支援警報音＝中
パーキングセンサー設定
パーキングセンサー表示割込み＝する
その他設定
車種設定＝普通車両 キー操作音＝操作音1

初期設定一覧

セキュリティ設定
セキュリティ設定=する セキュリティインジケータ=する 盗難多発地点音声案内=しない 盗難多発地点表示案内=しない 市街地図での盗難多発地点表示案内=しない
internavi設定
フローティングカー情報=する 図形情報割り込み=する 情報センターからの音声配信=する ルート案内時連動取得=全ての情報
internavi ウェザー設定
地図上の天気表示=する 天気情報割り込みの表示=する 気象予報アイコンの表示=する 音声お知らせ=する
システム設定
情報取得設定=常時接続
internavi 音量設定
internavi 音量 = 11 目盛中左から5目盛目 消音 = OFF

● オーディオ

音量調整
音量 = 3
画質調整
明るさ ・ 昼用 = 25 (全映像共通) ・ 夜用 = 8 (ナビ、オーディオ映像、TV 映像共通) 16 (フロントカメラ) 12 (リアカメラ) コントラスト = 16 (全映像共通) 色の濃さ = 16 (全映像共通) 色合い = 16 (全映像共通) ※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合いは表示されません。
画面調整 (画面の表示サイズの切り換え)
フル
録音管理
録音管理 = 自動録音 録音品質 = 256 kbps

TUNE
ルート
有料道路優先 = 中 道幅優先 = 中 渋滞回避 = 中 ルート学習 = する VICS 考慮 = する スマートIC 考慮 = ON 季節規制考慮 = ON
ガイドランス
分岐案内頻度 = 高 合流案内 = 常時 踏切案内 = 常時
マップ
地図色 昼 = ノーマル 夜 = ノーマル 文字サイズ = 小 自車マーク = 矢印

CD
再生モード = 通常再生
USB / SD
選曲モード = 全曲 再生モード = 通常再生 モード切換 = 音楽ファイル
エフェクト設定
音の匠 SRS CS Auto 選択時 FOCUS 各スピーカー = 4 TruBass 各スピーカー = 4 MixToRear = 4 DSP 選択時 = HALL
イコライザー設定
OFF
スピーカーサイズ設定
フロント = LARGE リア = LARGE

フェード・バランス設定
FADE = 0 BALANCE = 0
車速連動音量
設定 = MIDDLE
アイドリングストップ時の音量制限お知らせ
する
FM(ラジオ)
周波数 = 76.0 MHz
AM(ラジオ)
周波数 = 522 kHz
交通情報(ラジオ)
1 620 kHz
Music Rack
選曲モード = 全曲 再生モード = 通常再生

DVD
音声言語 = 日本語 字幕言語 = 日本語 メニュー言語 = 日本語 ダイナミックレンジ圧縮 = OFF モニター設定 = ワイド 視聴制限レベル = 制限なし
TV
受信モード = 自動切替 信号切替 マルチビュー = 主番組 映像 = 映像 1 音声 = 日本語 二重音声 = 主 字幕 = 表示しない 文字スーパー = 表示しない その他の設定 オート放送局サーチ = する 地上D選局対象 = テレビ 番組表表示形式 = 第一内容 地上D／ワンセグ切替設定 = 遅延補正あり

別売品(システムアップ)について

ETC 車載器(ナビ連動タイプ)

フロントカメラシステム

USB 接続ジャック

iPod / USB メモリーを再生する場合に必要です。

地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ

地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。

USB メモリーデバイスコード

USB 接続コード(ホルダータイプ)

AUX 接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

ETC2.0 車載器(ナビ連動タイプ)

ドライブレコーダー(ナビ連動タイプ)

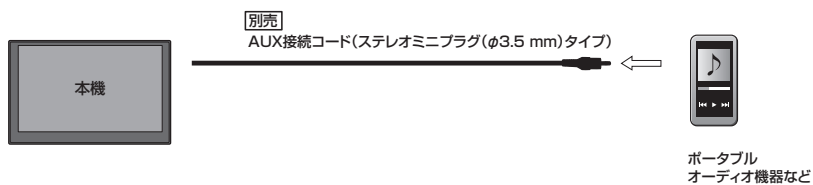
リアカメラ de あんしんプラス

リアカメラ de あんしんプラス 2(ダブルビュー)

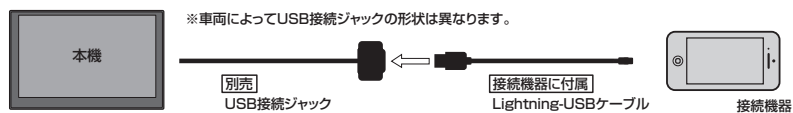
※各別売品は車両標準装備の場合があります。車両によって詳細仕様が異なる場合があります。

※本機で利用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

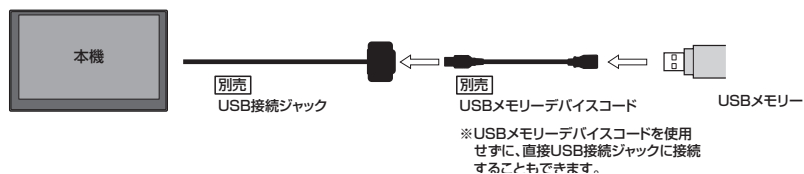
ポータブルオーディオ機器などを使う



iPod / iPhone を使う



USB メモリーを使う



※接続コード類の仕様は変更となる場合があります。

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、およびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
-  VICIS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- [ETC]、[ETC2.0] は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。DTS Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよびDTSとシンボルマークとの複合ロゴはDTS, Inc.の登録商標です。SRS CS Auto は、DTS Inc. の商標です。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- "DVD Logo" は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- "ゼンリン" および "ZENRIN" は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- "タウンページ" は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標です。
- 本製品はコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

-
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
 - 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

■上記(3)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

●Independent JPEG Group's License

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

●RSA Data Security's MD5 License

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

●Apache License 2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,

WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

●OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

●TOPPERS/JSP Kernel

Toyohashi Open Platform for Embedded Real-Time Systems/

Just Standard Profile Kernel

Copyright (C) 2000-2003 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory

Toyohashi Univ. of Technology, JAPAN

Copyright (C) 2005-2006 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory

Graduate School of Information Science, Nagoya Univ., JAPAN

上記著作権者は、以下の(1)~(4)の条件が、Free Software Foundationによって公表されている GNU

General Public License の Version 2 に記述されている条件を満たす場合に限り、本ソフトウェア(本ソフトウェアを改変したものを含む、以下同じ)を使用・複製・改変・再配布(以下、利用と呼ぶ)することを無償で許諾する。

- (1) 本ソフトウェアをソースコードの形で利用する場合には、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定が、そのままの形でソースコード中に含まれていること。
- (2) 本ソフトウェアを、ライブラリ形式など、他のソフトウェア開発に使用できる形で再配布する場合には、再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
- (3) 本ソフトウェアを、機器に組み込むなど、他のソフトウェア開発に使用できない形で再配布する場合には、次のいずれかの条件を満たすこと。
 - (a) 再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
 - (b) 再配布の形態を、別に定める方法によって、TOPPERS プロジェクトに報告すること。
- (4) 本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じるいかなる損害からも、上記著作権者および TOPPERS プロジェクトを免責すること。

本ソフトウェアは、無保証で提供されているものである。上記著作権者および TOPPERS プロジェクトは、本ソフトウェアに関して、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行わない。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わない。

これらの OSS についてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下の URL をご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/license/genue/HDOP/>

保証とアフターサービス

■保証について

- 保証書に記載された「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …………… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき … 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …………… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …………… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …………… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

さくいん

あ 行

案内スタート	D-5
案内ストップ	D-5
イコライザー設定	E-41
一般優先(ルート探索条件)	D-12
緯度・経度表示設定	B-7
迂回探索	D-10
オーディオを ON / OFF する	E-2
オート放送局サーチ(TV)	E-20
音の匠(サラウンド設定)	E-42
オプションボタンの設定をする	I-37
音質(録音)	F-4
音声案内の音量調整(ナビゲーション)	D-11
音声案内の設定(ナビゲーション)	D-16
音声案内を消音にする(ナビゲーション)	D-11
音声認識	G-6
オンライン検索	E-6, F-9

か 行

回転ボタン	E-37
各部の名前	A-8
画質調整	I-42
画像再生	E-37
画像ファイルについて	K-34
画面を消す	I-43
キー操作音設定	I-38
季節連動	B-7
起動画面の変更	A-10
記念距離メモリー	I-18
距離優先(ルート探索条件)	D-12
緊急警報放送(TV)	E-14
経由地の入れ替え	D-6
経由地の削除	D-6
経由地の変更	D-7
経由地をスキップする	D-5
経由地を追加	D-7
現在のルート全体を表示	D-8
交通情報(ラジオ)	E-21
故障かな?と思ったら	J-2
小文字に変換	K-20

さ 行

再生できるディスク	K-24
再生モード	E-5, E-26, E-28, E-33, E-36
再探索	D-11
サラウンド設定	E-42
サンプリング周波数	K-32, K-35
時間規制道路を考慮	D-13
時間連動	B-7
自転車マーク	B-3, B-5
施設詳細	B-11
自宅の新規登録	D-4
自宅までのルートを探る	D-4
自動再探索	D-12
自動録音	F-4
絞込み	C-3
ジャケット写真を登録する	F-8
車速連動音量設定	E-41
シャッフル再生	E-26
ジャンクションビュー(JCTビュー)	D-17
住所検索	C-4
渋滞情報	I-3
渋滞地点	D-5
周辺施設検索	C-6
受信モード切替(TV)	E-15
出発地の変更	D-7
手動録音	F-4
仕様	K-38
初期化	F-5, F-10, I-44
初期設定一覧	K-40
初期登録設定(BLUETOOTH Audio)	E-29
スキャン再生	E-5, E-28, E-36
ステアリングリモコン設定	I-40
スピーカー設定	E-43
スマートIC	D-15
スモール連動	B-7
スライドショー	E-37
設定メニュー	B-11
選曲モード	E-25, E-28, E-32, E-35
全曲録音	F-2
選択曲録音	F-2
ソースを選ぶ	E-2

た 行

探索開始	D-7
探索条件	D-6, D-12
地図表示記号	B-4
地図を拡大／縮小する	B-13
地図をスクロール(地図を動かす)	B-10
地点を登録	I-33
地点を編集	I-34
昼夜切換	B-7, I-42
ディスクを挿入する／取り出す	E-4
テナント情報	B-11
デモ走行	D-3
デモ走行中止	D-3
動画ファイルについて	K-35
盗難多発地点案内	I-38
道路切換	B-9
登録ルート	D-9
道路メイン(地図色)	B-5
時計表示(全画面)	E-3
ドライブレコーダー	I-8
ドラッグ操作	A-14

は 行

ハイウェイモード	B-16, D-17
ハンズフリー	G-8
微調整する	B-10
ビットレート	K-32, K-35
表示サイズ切り換え	I-43
表示できる施設	K-18
ピンチ操作	A-14
フェード・バランス調整	E-40
フェリーを優先	D-12
複数探索	D-7
複数ルート探索	D-2
プリセット選局(ラジオ)	E-22
フリック操作	A-14
フロントカメラ映像を表示する	I-20
別売品(システムアップ)	K-44
方面看板	D-18
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-9
ボタン消	B-2, E-9
本体情報	E-30, G-4, I-44

ま 行

マップコード	B-7, C-11
右画面 AV を表示	B-8
右画面表示	B-16
メッセージ表示について	J-20
モード切換	E-34
目的地周辺	C-6
目的地の入れ替え	D-6
目的地の追加	D-7
目的地の変更	D-7
目的地メニュー	C-2
文字修正	K-20
文字を入力する	K-20

や 行

ユーザーセットアップ	A-12
有料優先(ルート探索条件)	D-12

ら 行

ラジオを聞く	E-21
ランダム再生	E-5, E-28, E-33, E-36
ランドマーク表示設定	B-8
リアカメラ映像を表示する	I-22
立体アイコン	B-4
リピート再生	E-5, E-8, E-26, E-28, E-33 E-36
ルート案内設定	D-16
ルート案内について	K-4
ルート案内をストップ／スタートする	D-5
ルート学習	D-15
ルート削除	D-9
ルート情報	B-16, D-17
ルートの全表示	D-16
ルート沿い	C-6
ルート探索	D-2, K-6
ルート探索条件設定	D-12
ルート保存	D-9
ルートを変更する	D-6
録音	F-2
録音音質	F-4
録音方法(自動／手動)	F-4

わ 行

ワンセグに切り換え	E-15
ワンタッチダイヤル	G-13

数字・アルファベット

3D表示の角度調整	B-6
AAC	K-32
AUDIOメニュー	E-2
AUX	E-39
BLUETOOTH Audio	E-31
CD再生	E-4
CD録音設定	F-4
CPRM対応	K-24
Drive T@lker	G-6
DSP(サラウンドの設定)	E-43
DVD再生	E-7
ETC / ETC2.0	I-6
ETCレーン表示	D-17
FM / AM	E-21
FLAC	K-32
GPS	B-2
Gracenote データベース	K-22
H.264	K-35
internaviルート(ルート探索条件)	D-12
iPod / iPhone対応可能機種	K-27
iPod再生	E-25
JPEG(画像ファイル)	K-34
MP3	K-32
MPEG4	K-35
Music Rack	E-27, F-1
NaviCon [®]	G-4
QUICKメニュー	B-14
SDカード	E-34
SDカードから地点を登録する	I-33
SDカードを挿入する / 取り出す	E-33
SRS CS Auto(サラウンドの設定)	E-42
TUNE	B-14
TV	E-14
USBメモリー	E-34
VICS	I-2
VICS渋滞情報(矢印表示)	I-3
VICSボタン	B-2
VRモードディスク	E-10
WAV	K-32
WMA	K-32

